

始



法全

17
229 1

No 4/46/23

會社法

法學士宮岡恒次郎著

明治二十三年六月再版



會社法

明治二十六年六月五日

勅諭士官岡田六郎

會社法第二版序

客臘拙著會社法出版ノ期ニ際シ。予ハ自カラ序
シテ曰ク今ヤ會社事業ノ進歩蒸蒸日上トシテ夫レ
恰モ日躋ノ勢アルニ方リ會社法ノ制定アラシ
コト著者ハ公衆ト共ニ大ニ希望スル所ニシテ
我政府亦夙ニ其須要ヲ察シ遠カラスシテ之ヲ
頒布セラル、ニ至ルヘキハ吾人ノ深ク信シテ
疑ハサル所ナリト我
叡聖文武ナル
天皇陛下ニ今茲三月廿七日ヲ以テ帝國ノ商法

ニ
ヲ裁可シ玉ヒタリ繼デ日ヲ重ヌル正ニ三旬四
月廿六日ニ及デ其公布ヲ見ルニ至レリ予乃チ
反覆閱讀之レヲ拙著會社法ニ對照シ其掲クル
所ノ會社ニ關スル條項大要相均シキヲ曉ルニ
至テハ安ンゾ亦怡然タラサランヤ書肆適々來
テ再版ヲ促ス乃チ誌シテ以テ自序ニ代フト云
爾

第一版序

凡ソ人類聚居シテ社會ヲ組織スルヤ風俗甚ダ
矇昧ナリト雖モ慣行極メテ野卑ナリト雖モ尙
能ク規律ノ其秩序ヲ保持スルモノナクンバア
ラザルナリ天下豈苟クモ法律ナキヲ得ンヤ已
ニ人類ノ秩序ヲ保持スルモノナリ法律焉ンゾ
夫レ萬世不易タルヲ得ンヤ蓋シ時勢ノ變遷社
會ノ進歩ハ自然ノ常態ニシテ往昔ノ文明今日
ハ實ニ其矇昧ヲ笑ハズンバアラズ嚮時ノ良法
今日ハ實ニ其徒法タルノ譏ヲ免レザルモノ比

二
々皆是レナリ若シ夫レ社會ノ變勢ヲ顧ミズ妄
リニ舊法ニ依テ以テ事ヲ處セントスルガ如キ
其弊ヤ又言フニ忍ビザルモノアラシ故ニ曰ク
社會ノ進歩ト法律ノ進歩トハ常ニ其揆ヲ一ニ
スルモノナリト
回顧セバ將ニ是レ三十有餘年ナラントス我國
外交ノ利ヲ曉リ幾千百年來ノ頑夢ヲ攪破シ茲
ニ始メテ歐米諸國ト修好通商條規ヲ締結セリ
當時我國畧ボ已ニ文明ノ域ニ居レリト云フモ
亦太ダ謬見ニアラザルモノ、如シト雖モ之ヲ

今日ノ時勢ニ比照シテ果シテ如何ゾヤ思テ茲
ニ至レバ霄壤ノ差實ニ啻ナラザルモノアルベ
シ夫レ然ルガ故ニ權利義務ニ關スル各般事件
ノ如キモ三十年前ノ往時曾テ夢想ダニ及ブ能
ハザリシモノニシテ而今今日ハ則チ盛ニ我社
會ニ發顯スルアルヲ見ルナリ例ヘハ彼ノ商事
會社ヲ創設スルノ契約ノ如キ若クハ彼ノ會社
ガ世人ト締結スル契約ノ如キハ其最モ顯著ナ
ル例證ナラズンバアラザルナリ
今ヤ會社事業ノ進歩蒸蒸日上シテ夫レ恰モ日躋

ノ勢アルニ方リ會社法ノ制定アラシキト著者
ハ公衆ト共ニ大ニ希望スル所ニシテ我政府亦
夙ニ其須要ヲ察シ遠カラズシテ之ヲ頒布セラ
ル、ニ至ルベキハ吾人ノ深ク信シテ疑ハサル
所ナリ然レモ其未ダ制定セラレザルノ現時ニ
於テ這種權義ニ係ル問題ハ若シ習慣アラハ習
慣ニ遵ヒ習慣ナケレバ則チ條理ニ依テ以テ之
ヲ決スヘキナリ然リ而シテ我國會社ノ制ヤ實
ニ晩近ニ肇始シ歲月ノ淺キ未ダ舊慣ノ以テ依
ルベキモノアラズ故チ以テ之ヲ處スル唯一ニ

四

條理ニ憑據スルヨリ他ニ路ナキナリ著者ガ本
書ニ於テ英米裁判所ノ審判ニ徴シ會社法ノ條
理ヲ纂述スル所以ノ者寔ニ此ニアルナリ
又異日我國會社法ノ制定セラレ、ヤ條文解釋
ニ就キ群議紛岐各自執争スルハ勢ノ免レザル
所ニシテ是ヲ決スル須ラク能ク法理ヲ按シ以
テ條文ヲ咀嚼セザルベカラズ讀者若シ此書ニ
就キ英米裁判所ノ是認スル所ノ法理ヲ審査シ
テ參考ニ供セハ蓋シ亦益スル所尠ナカラザラ
ン乎是レ著者ガ竊カニ忻冀スル所ナリ茲ニ微

五

衷ヲ誌シテ以テ小序ト爲スト云爾

六

明治二十二年十一月

著者

識

會社法目錄

第一篇	緒論	一
第二篇	會社ノ創立	二三
第一章	結社約定書	二八
第二章	會社ノ定款	三三
第一節	有限責任會社ノ定款	三三
第二節	保證有限責任會社ノ定款	七九
第三節	無限責任會社ノ定款	八六
第三章	會社設立登録出願ノ事	八六
第一節	設立登録ノ効果	八八
第二節	登録社名ノ事	九三

(目錄)

一

第二篇 會社營業ノ事

第一章 會社ノ從事シ得ヘキ營業ヲ論ス

九五

第一節 會社設立ニ關スル書類ニ依リ明文

ヲ以テ許容セラレタルカ或ハ暗ニ

許容セラレタル事業

九六

第二節 一會社ニ於テ他ノ會社ノ事業若ク

ハ財産ヲ引受クルコト

一〇〇

第三節 一時不用ニ屬スル財産處分方ノ事

一〇四

第四節 會社カ其事業ノ一部分ヲ廢止スル

事

一〇六

第五節 會社ニ於テ株式ノ取引ヲ爲ス事

一〇九

第二章 會社ノ事業擴張ノ事

一一四

第一節 會社ハ其本目的タル營業ノ範圍内

ニ屬セサル事業ニ從事スルコトヲ

得ス

一一四

第二節 通常ノ方法ニ依リ會社ノ事業ヲ擴

張スルコト

一二二

第三節 會社ノ營業ヲ擴張スル方法ニシテ

其直接ナルモノト間接ナルモノト

ノ區別ヲ論ス

一二七

第三章 會社カ其營業上ノ事業ニ關シ負擔ス

ル所ノ義務ヲ論ス

一三〇

(目錄)

三

第四章 營業事務取扱上ニ係ル會社ノ權限ヲ

論ス

第一節 會社ノ内事ニ關スル會社ノ權

第二節 會社ノ外事ニ關スル會社ノ權

第四篇 會社ノ會計事務ヲ論ス

第一章 會社ノ金錢取扱方法

第一節 會社ニ於テ仕拂義務ヲ負フノ權

第二節 會社ニ於テ金錢ヲ借入ルノ事

第二章 會社ノ負債辨償ニ對スル保證ヲ論ス

第一節 會社カ其負債ニ對シ保證ヲ設ケ得

ヘキ權限ヲ論ス

四

一三四

一三四

一四二

一四七

一四七

一四八

一五七

一六六

一六六

第二節 會社カ其負債ヲ證明シ及ヒ之カ辨

償ヲ保證スルノ方法ヲ論ス

第三節 會社カ保證人ト爲ルノ權

第三章 會社カ流通證書ヲ發シ且流通證書ニ

關シ義務ヲ負擔スルノ權

第一節 通常ノ流通證書

第二節 會社ノ印章ヲ押捺シタル爲換手形

及約束手形

第三節 會社ノ捺印證書ニシテ流通シ得ヘ

キモノ

第四節 會社ノ發シタル流通證書ヲ無効ト

(目錄)

五

一八八

一八七

一八一

一八一

一八〇

一六八

ナスヘキ場合

六

第四章 會社ノ資本金

一九二

第一節 會社ノ營業ヲ開始スルニ必要ナル

一九七

資本金額ヲ論ス

一九七

第二節 資本金額ノ増減

二〇四

第五篇 會社ノ社員タルノ資格及

株式ニ關スル事項ヲ論ス

二一一

第一章 社員タルノ資格

二一一

第一節 社員タルノ資格未タ完全セサル者

二一二

第二節 社員タルノ資格完全シタル者

二二〇

第三節 社員トナルノ意思アラサルモ社員

二二〇

タルノ責任ヲ免ルヘカラサル者

二二四

第二章 株式ニ關スル事項ヲ論ス

二二五

第一節 株式ヲ變更スルコト

二二五

第二節 株金ノ拂込

二二六

第三節 株金拂込ノ徴収

二三〇

第四節 株式ノ讓渡

二三八

第五節 株式ノ賣買

二四二

第六節 株式ノ返還

二四八

第七節 株式ノ沒收

二五〇

第六篇 株主總會及利益配當

二五九

第一章 株主總會

二五九

(目錄)

七

第二章 利益配當

八
二六四

第七篇 會社ノ權限及會社カ之

ヲ實行スル手段ヲ論ス 二七七

第一章 會社ノ特權

二七七

第一節 總論

二七七

第二節 會社カ特權ヲ行フヘキ目的

二八三

第三節 會社カ當ニ自ラ行フヘキ權利ヲ他

二八七

人ニ委任シ若クハ之ヲ拋棄スル事

第二章 會社カ其權利ヲ自ラ實行スルコト及

其捺印證書ニ關スル事項ヲ論ス

二九二

第一節 捺印證書ヲ要スルノ理由

二九三

第二節 英國習慣法ノ例規ニ依リ捺印證書

二九六

ヲ要セサル場合

第三節 英國ノ衡平法ニ依リ捺印證書ヲ要

三〇五

セサル場合

第三章 會社カ役員ニ依リ其權利ヲ實行スル

三〇八

コトヲ論ス

第一節 役員

三〇八

第二節 役員ノ權限

三一四

第三節 取締役及支配人等ノ責任

三二四

第四章 會社ノ事務取扱上ニ關スル式ヲ論ス

三三四

第一節 會社ノ準據スヘキ式

三三五

(目錄)

九

第二節 必要缺クヘカラサル式

三四八

第三節 特ニ役員會議ノ遵守スヘキ式ヲ論

ス

三五〇

第八篇 會社カ契約、追認、默諾及

私犯等ニ依リ義務ヲ負

フコトヲ論ス

三五七

第一章 發起人ノ取結ヒタル契約ニ付キ會社

カ設立後負擔スヘキ義務ヲ論ス

三五七

第一節 發起人ノ契約會社ノ權限外ニ涉ル

トキ

三五九

第二節 發起人ノ取結ヒタル契約會社ノ權

限外ニ涉ラサル時特發條例ニ依リ
設立セラレタル會社ノ負擔スヘキ
義務

三六一

第三節 發起人ノ取結ヒタル契約會社ノ權

限外ニ涉ラサル時制定條例ニ依リ
創立シタル會社ノ負擔スヘキ義務

三七九

第二章 會社カ契約ヲ追認シ又ハ默諾シタル

ニ依リ負擔スヘキ義務ヲ論ス

三八一

第一節 會社自ラ追認スルトキ

第二節 會社自ラ默諾シタルトキ

第三節 役員ノ爲シタル追認及默諾

三八九

三九六

(目錄)

一一

第三章 全ク會社ノ權限外ニ涉ル取引又ハ各

株主ノ一致アルニアラサレハ實行ス

ヘカラサル取引ヲ決行シタル場合ニ

於テ生スヘキ義務ヲ論ス

三九八

第一節 全ク會社ノ權限外ニ涉ル取引

三九九

第二節 各株主ノ一致ヲ俟テ實行スヘキ取

引

四〇八

第四章 會社カ私犯ニ依リ負擔スヘキ義務ヲ

論ス

四二七

第一節 會社ハ果テ私犯上ノ責任ヲ有セサ

ル乎

四二七

第二節 詐欺ニ對スル責任

四三三

第三節 詐欺ノ外他ノ一般ノ私犯ニ對スル

責任

四四八

第九篇 役員カ會社ノ爲メニ行

フタル所爲ニ就キ負擔

スヘキ義務ヲ論ス

四七三

第一章 役員カ會社ノ爲メニ取結ヒタル契約

ニ就キ負擔スヘキ義務

四七三

第二章 役員カ自己ノ私犯ニ付キ負擔スヘキ

義務

四九二

第十篇 會社ノ解散

四九九

(目錄)

一三

No 4/46/23

會社法

法學士 宮岡恒次郎著

第一編 緒論

凡ソ吾人ノ社會ニ在テ事業ヲナスヤ相扶ケ相俟テ以テ互ニ協力
 一致スルニアラズンハ焉ンソ能ク其大成ヲ效スヲ得ンヤ見ヨ彼
 ノ數千里ノ鐵道延ヒテ亞米利加ノ大洲ヲ横キルカ如キ又不見ヤ
 彼巴奈馬ノ地峽ヲ切開シテ兩大洋ヲ連絡セントスルカ如キ夫レ
 豈個々ノ力區々ノ資ノ能クシ得ヘキモノナランヤ文藝技術又何
 ソ異ナラン協意相研キ同志相究ムルニ非スンハ以テ能ク其改良
 進歩ヲ期スヘカラサルナリ蓋シ社會各般ノ事業一トシテ協同ノ

(第一編緒論)

一

目録了

第一章 會社解散ノ原由	四九九
第二章 會社解散ノ手續	五〇四
第一節 總論	五〇四
第二節 裁判所ノ命令ニ因ル會社解散	五一七
第三節 任意ノ會社解散	五二四
第四節 裁判所ノ監視ヲ受ケテ執行スル會社解散	五三二
第三章 事務收結ノ手續開始ノ結果及ヒ會社解散ノ効果	五三五

一四

力ヲ假ラサルナキ所以ノモノ寔ニ此ニ存スル歟夫レ然リ然ルカ
 故ニ商業社會ニハ之ヲ會社ト云ヒ學術社會ニハ之ヲ協會ト稱ス
 皆是レ同志ノ相團結シテ成レルモノナリ今此等亘多ノ團結ヲ其
 目的ニ依リ大別シテ二トナスヲ得ヘシ曰ク農工商等ノ事業ニ從
 事シ以テ營業上ノ利得ヲ目的トスルモノ曰ク右等ノ事業ニ從事
 セス亦營業上ノ利得ヲ目的トセサルモノ是レナリ
 營業上ノ利得ヲ目的トセサル團結ニシテ近時我政治社會ノ大ニ
 注目スル所トナリシ最モ著シキ一例ヲ舉クレハ明治二十一年四
 月十七日法律第一號市制及町村制ヲ以テ我政府ノ制定シタル市
 及町村ノ如キ即チ營業上ノ利益ヲ目的トセサル一種ノ團結ナリ
 トス

市制第二條ニ曰ク市ハ法律上一箇人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ
 負擔シ凡ソ市ノ公共事務ハ官ノ管督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スル
 モノトスト又町村制第二條ハ其町村ノ定義ヲ下シテ曰ク町村ハ
 法律上一箇人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡ソ町村公共ノ
 事務ハ官ノ管督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトスト而シテ立
 法者ハ又其理由書ニ於テ之カ説明ヲ爲シテ曰ク自治區ハ法人ト
 シテ財産ヲ所有シ之ヲ授賣買シ他人ト契約ヲ結ビ權利ヲ得義
 務ヲ負ヒ又其區域内ハ自ラ獨立シテ之ヲ統治スルモノナリ云々
 ト是ニ由テ之ヲ觀レハ法律ハ市及町村ニ許スニ地方自治ヲ行フ
 爲メ法律上無形ノ人トシテ權利義務ヲ有スルノ特有ナル性質ヲ
 以テシタルモノナリ故ニ此法律ニ依ルトキハ市及町村ハ營業上

ノ利得ヲ目的トセサル一ノ團結ニシテ地方自治ヲ行フ爲メ法律上無形人トシテ存スルモノナリ

尙ホ他ニ營業上ノ利得ヲ目的トセサル團結ノ例ヲ舉クレハ學術、宗教、美術等ニ關スルコトヲ目的トセル協會又ハ慈惠ヲ目的トセル日本赤十字社同愛社ノ如キ其數枚舉スルニ違アラスト雖モ此書專ラ商事會社ニ關スル法律ヲ説明スルヲ以テ目的トスルカ故ニ假令商事會社ト其性質ヲ同フスル點アルニモセヨ右等農工商等ノ事業ニ關係ナキ團結ニ就テハ其性質如何ヲ論セサルヘシ以下直ニ營業ノ利得ヲ目的トスル團結ノ種類及其性質ヲ説明セシニ凡ソ二人以上營業ノ目的ヲ以テ結社シタル者ヲ大別スレハ

(一)法律上無形人タル資格ヲ有スル結社ト (二)法律上無形人タル資

格ヲ有セサル結社トノ二ツニ歸スヘキナリ抑モ無形人タル資格ヲ有スル結社トハ市町村制ノ規定セル市若クハ町村ノ如ク法律上一箇人ト均シク財產ヲ所有シ之ヲ授受賣買シ他人ト契約ヲ結ビ權利ヲ得義務ヲ負フノ能力アル者ヲ云フ故ニ若シ商業會社ニノ其有スル所ノ權利義務ハ其社員ノ權利義務ニ非ス會社其者ノ權利義務ニシテ訴訟ニ於テモ會社其者原告トナリ若クハ被告トナルヲ得ル等ノ性質ヲ具有セルトキハ則チ其會社ハ法律上一箇人トシテ存立スルモノナリトス我商法草按第十七條ニ曰ク會社及其他ハ無形人カ商業ヲ營ムトキハ亦商業ニ付設ケタル規定ヲ遵守スルコトヲ要スト又第七十三條ニ曰ク會社ハ特立ノ財產ヲ所有シ又獨立シテ權利ヲ得義務ヲ負フ殊ニ其名ヲ以テ債權ヲ得

債務ヲ負ヒ動産不動産ヲ得取シ又訴訟ニ付原告又ハ被告トナルコトヲ得ト是ニ由テ之ヲ觀レハ我商法草案モ亦歐米各國ノ法律ト均シク該草案ノ規定ニ從ヒ設立シタル會社ハ皆法律上無形人ノ資格アルモノト認メントスルモノナリ彼ノ京濱間ニ往々見ル所ノ何々商會ト稱スルモノ、如キハ決シテ法律上一ノ無形人トシテ存立スルモノニアラサルヘシ何トナレハ其商會ノ權利義務ハ即チ社員各自ノ權利義務ニシテ其他人ト取結ヒタル契約モ又社員ノ契約ニ外ナラサレハナリ蓋該商會ト稱スルモノハ大概英國法ノ所謂「ファーム」(組合)ナルモノニシテ法律上無形人タルノ資格ヲ有スル會社ト同一視スヘキモノニ非サルナリ今左ニ組合ノ性質ヲ簡單ニ述ヘ以テ其會社ト異ナル所以ヲ説明セン

組合トハ二名以上ノ人契約ヲ結ヒ各自共同利益ノ爲メ資本金若クハ勞力或ハ資本金及勞力ノ二ツヲ出シテ共ニ業務ヲ營ムモノヲ云フ例令ハ二名以上ノ商人互ヒニ資本金ヲ差出シ共ニ組合商業ノ爲メ奔走スルカ如キハ即チ組合員各自資本金及ヒ勞力ヲ出シ以テ共ニ業務ヲ營ムモノナリ又二名ノ組合員ノ内一名ハ資本金ヲ差出シ一名ハ專ラ其組合ノ營業ニ従事スルカ如キハ即チ一名ハ資本金ヲ出シ一名ハ自己ノ勞力ヲ出シ以テ營業ヲ共ニスルモノ、例ナリ而シテ組合員ハ通常其營業ヨリ生スル所ノ利益ヲ分配スルモノニシテ若シ損失アルトキハ其損失ヲモ分擔スルモノトス

組合ニ於テハ現ニ其事業ヲ擔當スル組合員モ亦單ニ資本金ノミ

ヲ差出シ其事業ニ與カラサルモノモ又唯名義組合員ニシテ現實組合ニ何等ノ關係ナキモノモ法律ハ其組合員タルノ故ヲ以テ別ニ委任狀ナキモ相互ニ代理權ヲ有スルモノト認ムルカ故ニ各組合員ハ組合ノ名義ヲ以テ他人ト契約ヲ結ヒ以テ組合員一同ニ義務ヲ負ハシムルコトヲ得ルモノナリ例ヘハ組合ノ名義ヲ以テ約束手形ヲ振出シタルモノアリタルトキハ其實之ヲ振出シタル組合員ニ於テハ全ク自己ノ利益ノ爲メニシタルモノニシテ組合ニ代リ之ヲ振出シタルモノニ非サルモ其事情ヲ知ラスシテ手形ヲ受取リタル人ニ對シテハ組合ハ手形面ノ金額ヲ支拂フノ義務アリ且ツ組合ノ負債ニ對シテハ各組合員連帶義務者ナルヲ以テ各自負債ノ全部ヲ辨償スルノ義務アルモノトス

又組合員ハ其退會スルニ當テハ其組合ニ於テ自己ノ有スル權利義務ヲ他人ニ繼續セシムルコトヲ得サルモノトス若シ組合員中退會スルモノアルトキハ其退會前ノ組合ト其退會後ノ組合トハ同一ノモノニ非スシテ法律ノ眼ヲ以テ之ヲ見ルトキハ一名ノ退會者アルニ依リ從來ノ組合ハ茲ニ解散シタルモノニシテ若シ殘餘ノ組合員ニ於テ尙其組合ヲ繼續スルトキハ殘餘ノ組合員ハ即チ新ニ一ノ組合ヲ設立シタルモノト認ムルナリ之ヲ要スルニ組合ハ法律上一箇ノ無形人タルノ資格ナク其有スル所ノ財産ハ組合其者ノ財産ニ非スシテ組合ヲ組成スル組合員ノ財産ナリ又訴訟ニ於ケルモ組合自ラ原告若クハ被告トナルニ非スシテ組合員全体若クハ組合員ノ内一名或ハ一名以上ニテ組

合員全体ニ代リ原告若クハ被告トナルモノナリ又組合員ハ相互ニ代理權ヲ有シ且ツ互ニ連帶義務者トシテ責任ヲ有シ組合員ノ内一名ニテモ退會者アルトキハ該組合ハ之カ爲メ解散スルモノトス之ニ反シ特許ヲ得タル會社ハ法律上無形人タルノ資格ヲ有シ其社員ハ互ニ代理權ヲ有セスシテ會社ノ取締役及其他ノ役員ノミ會社ニ代リ萬般ノ取引ヲ爲スノ權利ヲ有シ會社ノ社員ハ相互ニ連帶義務者ニ非サルヲ常トス且社員中退社スルモノアルモ必スシモ之ニ依リ會社ハ解散スルモノニ非サルナリ

已ニ記載シタル所ニ依リ組合ノ何物タルコト及其會社トノ區別ハ稍々明瞭ナルヘシト雖モ茲ニ法律上無形人タルノ資格ナキ會社ノ性質ニ就テハ聊カ説明ヲ要スヘキナリ無形人タル資格ナキ

會社ノ場合ニ於テモ其社員ハ組合ノ如ク少數ノ互ニ相識レル人々カ相互間ノ友誼信任ヲ羈絆トシテ結合セルモノニ非スシテ多數ノ人々ヨリ成立シ其資本ノ如キモ之ヲ株式ニ分チ其性質大ニ法律上無形人タル資格ヲ有スル會社ニ類似スル所アルヲ以テ或ハ混同セラル、コト勘カラス然レモ法律ノ指定シタル或ル方法ニ依リ設立シタルモノニ非サレハ純粹ナル會社トハ稱スヘカラサルナリ現ニ我商法草案第六十九條ハ殊更明文ヲ掲ケテ曰ク會社ノ設立ハ適當ナル登記及公告ヲ受クルニ非サレハ第三者ニ對シ會社タルノ効ナシト而シテ此適當ナル登記及公告トハ該草案ノ規定シタル會社設立ノ手續ヲ云フモノニシテ之ニ依ラスシテ設立シタルモノハ會社ノ社員株主ニアラサル人ニ對シテハ會社タ

ルノ効ナキモノトス

英國ニ於テハ始メ無形人タル資格ヲ有スル會社ヲ創立スルノ手續頗ル不便ナリシカ故千八百四十四年^{グクトリヤ}女皇即位第七年及八年第百十章ノ法令ヲ以テ合本會社ニ關スル條例始メテ發布アリシ時ヨリ凡ソ五十年程以前ヨリ多人數共同シテ會社ヲ組織シ其資本ヲ均一ニ分テ之ヲ株式トナシ其株式ノ金額ニ應ノ利益ヲ配當シ其事務ハ別ニ役員ヲ置キテ之ヲ掌ラシムルモノ續々開設セラレタリ而シテ此等ノ會社ハ政府ノ特許ヲ得テ無形人タルノ資格ヲ有シタルモノニ非サルカ故ニ其性質ハ法律上組合ト異ナラサルモノナレドモ裁判所ハ嚴格ニ組合ニ關スル法律ヲ之ニ適用セズ社員ハ互ニ新陳交代シ以テ其會社ノ資産中自己ノ有ス

ル持分ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ルモノトシ且ツ訴訟ニ於テハ支配人ノ名ヲ以テ原被告トナルヲ許シタリ
上來説明シタル如クナルヲ以テ無形人タル資格ヲ有セサル商社ハ組合及法律ノ指定シタル方法ニ依ラスシテ設立シタル會社ノ二種ナリトス以下進ンテ無形人タル資格ヲ有スル會社ノ種類及其性質ヲ説明スヘシ
日本商法草案ニ依レハ無形人タル資格ヲ有スル會社ハ左ノ三種ニ止ルモノトス

- 一 合名會社
- 二 合資會社
- 三 株式會社

此區別ハ佛國商法ノ採用セル「ソシエテー、アン、ノム、コレクチーフ」
 (合名會社)「ソシエテー、アン、コンマンディット」(差金會社)「ソシエテー、ア
 ノム」(無名會社)ノ區別ト多少相類似スル所ナキニアラスト雖モ
 亦全ク符合スルモノニハアラサルヲ以テ我商法草案ハ佛國商法
 ノ區別ヲ採用シタリト速斷スヘカラサルナリ乞フ該草案ノ條文
 ニ依リ合名會社、合資會社、及株式會社ノ區別ヲ説明セン

商法草案第七十四條ニ曰ク「二人以上七人以下共通ノ計算ヲ以テ
 商業ヲ營ム爲メ金錢又ハ有價物又ハ勞力ヲ出資トナシテ共有資
 本ヲ組成シ責任其出資ニ止ラサルモノヲ合名會社トナス」ト蓋シ
 此會社ヲ合名會社ト稱スルハ會社ノ稱號ニ總社員若クハ其一部
 ノ氏ヲ用井之ニ會社ナル文字ヲ附スルカ故ナラン例ヘハ甲乙丙

丁ノ四人ニテ合名會社ヲ組織スルハ其會社ノ名稱ヲ甲乙丙丁
 會社若クハ甲乙會社ト稱スル等ノ類ナリ

我商法草案ノ合資會社ト稱スル者ハ數多ノ社員ヲ以テ組織シ且
 ツ特別ノ規約アラサル以上ハ社員ノ責任ハ各自會社ノ資産トシ
 テ差出シタル金錢又ハ有價物ニ止マルモノナリ然レモ特別ノ規
 約ヲ以テ或ル社員ノ責任ヲ無限ナラシムルコトヲ得ルモノナル
 カ故ニ若シ或ル社員ノ責任ヲ無限ト定メタル時ハ其性質大ニ佛
 國商法ノ所謂差金會社ニ類スルモノナリ
 差金會社ナルモノハ佛語ニテ「ソシエテー、アン、コンマン、ザット」ト稱
 スルモノニシテ千六百七十三年佛國ニ於テ始メテ特ニ法令ヲ發
 シテ該會社ヲ設立スルコトヲ許セリ爾後佛國商法ノ制定アルニ

及テ同商法モ亦之ヲ認メテ法律上一箇人タルノ資格ヲ有スルモノト爲セリ抑モ此會社ハ連帶責任社員及差金社員ナル二種ノ社員ヨリ組成セルモノニシテ連帶責任社員ハ會社ノ負債ニ對シテ組合ノ社員ト均シク各自連帶ニ無限ノ責任ヲ負ヒ自己ノ身代ヲ盡シテ負債ヲ辨償スルノ義務アルモノナリ之ニ反シテ差金社員カ其會社ノ負債ニ對シテ有スル所ノ辨償義務ハ有限責任會社ノ株主ト均シク會社ニ差入レタル資本金額ニ止マリ且ツ差金社員ハ會社ノ營業事務ニ更ニ干渉スルコトヲ得サルモノトス今參考ノ爲メ佛國商法第二十三條及第二十七條ノ全文ヲ掲クレハ即チ左ノ如シ

第二十三條 差金會社ハ責任アリテ且連帶ノモノタル一名又

ハ數名ノ社員ト單純ナル元金差入人タル一名又ハ數名ノ社員トノ間ニ契約スル者ニシテ其元金差入人タル社員ハ之ヲ名ケテ差金者又ハ差金社員ト云フ

差金會社ハ會社ノ名號ヲ以テ之ヲ管理スヘシ但其會社ノ名號ハ必ス責任アリテ且連帶ノモノタル社員一名又ハ數名ノ姓名タルヘキモノトス

第二十七條 差金者タル社員ハ代理委任ニ依ルト雖モ管理ノ所爲ヲ行フコトヲ得ス

英國ニ於テモ一千八百六十七年ノ會社條例ヲ以テ一千八百六十二年ノ會社條例ヲ修正増補シタル時佛國差金會社ト性質ヲ同フスル會社ヲ設立スルコトヲ許セリ即チ新條例第四條ヲ以テ本條例

制定ノ後千八百六十二年ノ會社條例ニ基キ有限責任會社ヲ組織スルニ當リ其定款ヲ以テ會社ノ取締役又ハ支配人ノ責任ヲ無限ト定メタルトキハ右役員ノ責任ハ無限タルヘシト規定シ且該條例第五條ヨリ第八條ニ至ルノ各條ヲ以テ取締役ノ責任ヲ無限トナシタル有限責任會社ニ關スル法律ヲ規定セリ是ニ由テ之ヲ觀レハ英國法律ハ之ヲ以テ一種ノ有限責任合本會社トナスト雖モ其實佛國ノ差金會社ノ法律ヲ採用シタルモノニシテ亦一ノ差金會社ヲ許シタルモノト云フヘシ

日本商法草案ニ於テ株式會社ト稱スルハ會社ノ資本ヲ株式ニ分チ七人以上ノ株主ヲ以テ組織シ其ノ義務ニ對シテハ會社財產ノミ責任ヲ負フモノトス故ニ該草案ニ依レハ株式會社ハ必ラス有

限責任ノモノニシテ假令會社ノ負債如何ニ巨額ニ上ルモ株主ヲシテ其所有株式ヲ超過シテ會社ノ負債ニ對シ辨償義務ヲ負ハシムルコトヲ得サルモノトス

英國ノ千八百六十二年ノ會社條例カ採用セル法律上無形人タル資格ヲ有スル合本會社ノ區別ハ全ク我商法草案ト異ナルヲ以テ左ニ參考ノ爲メ其區別ヲ説明スヘシ

該條例第六條ニ依レハ七名若クハ七名以上ノモノ法律ニ違背セサル事業ヲ營マンカ爲メ結社シタルトキハ各自結社約定書及ヒ定款ニ記名シ其他會社設立ノ登録ニ關シ本條例ノ規定セル手續ヲ經由シ以テ有限若クハ無限責任會社ヲ創立スルコトヲ得ト規定シ又第七條ニ依レハ本條例ニ基キ設立シタル會社々員ノ責任ハ

其會社ノ定款ヲ以テ其株金ニ止マルモノトナスコトヲ得又會社解散ノ節會社ノ負債辨償ノ爲メ社員ノ差出スヘキ金額ヲ定款ヲ以テ制限スルコトヲ得ト規定セリ依テ今該條例ニ依リ一箇人タル資格ヲ有スル會社ヲ區別スルトキハ左ノ三種トナスコトヲ得ヘシ

一、有限責任會社

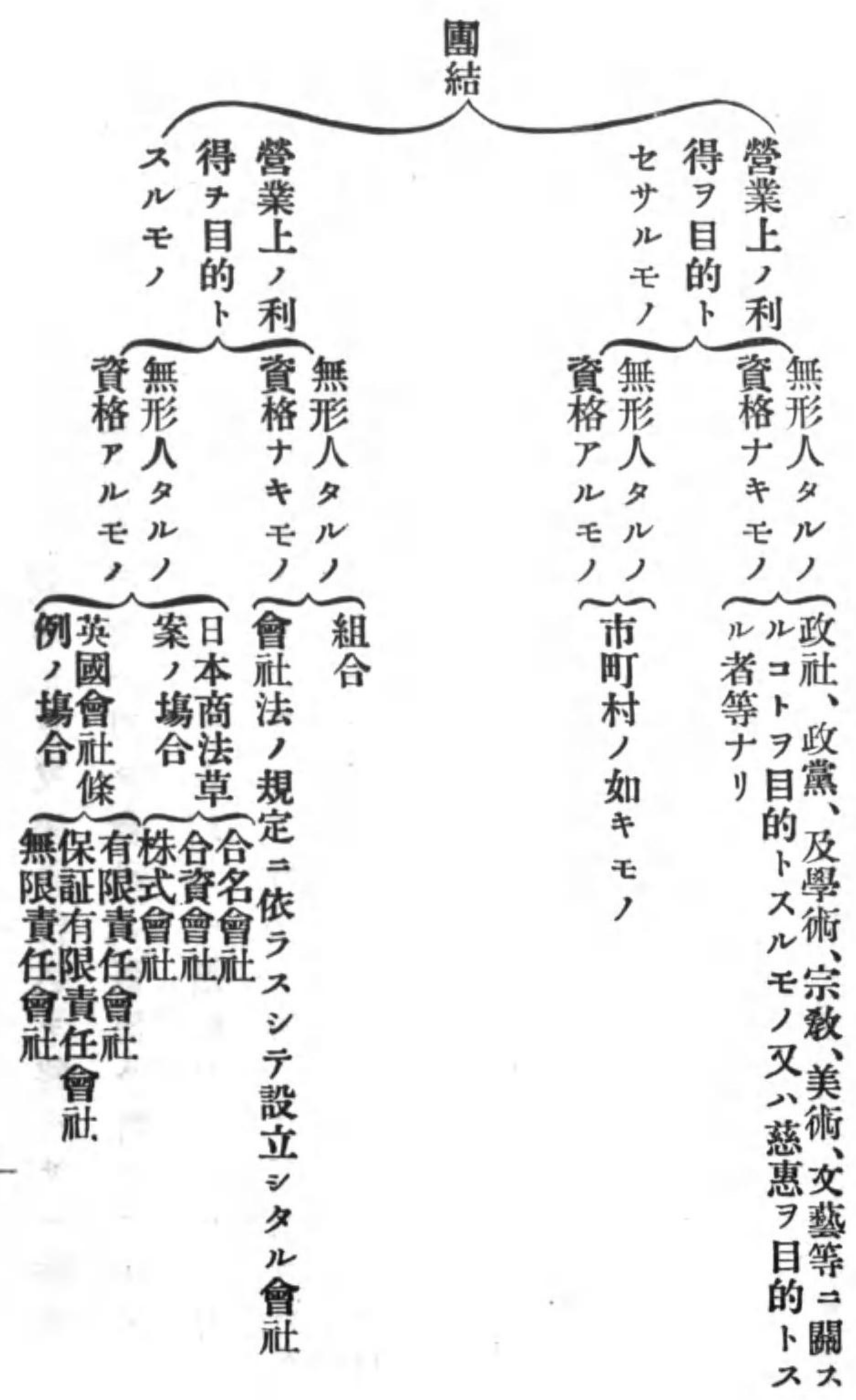
二、保證有限責任會社

三、無限責任會社

有限責任會社ノ責任ハ其資本金額ニ止マルモノトス故ニ會社ノ解散ニ際シテハ己ニ拂込ヲ終リタル株主ハ會社ノ負債辨償ニ對

シ更ニ金錢ヲ支出スルノ義務ナク又未タ拂込ヲ終ヘサル株主ト雖モ只拂込未濟ノ分ヲ支出シテ以テ會社ノ負債ヲ辨償スルノ義務アルニ止リ到底株主ハ其所有株金以外ノ損失ヲ蒙ルコトナキモノトス又保證有限責任會社ノ株主ノ責任モ均シク有限ニシテ株主ハ自己ノ身代ヲ盡シテ會社ノ負債辨償ニ任スル義務ナク只會社ノ解散ニ際シ若干ノ金額ヲ會社ヘ拂込ミ以テ會社ノ負債辨償ニ充ツヘキノ義務ヲ負擔スルニ止マルモノナリ之ニ反シ無限責任會社ノ株主ハ會社ノ負債辨償ニ對シテハ各自連帶ニ無限ノ責任ヲ有スルモノナリ

今讀者ノ記臆ニ便ナランカ爲メ以上記述シタル所ノモノヲ左ニ圖解スヘシ



第二編 會社ノ創立

凡ソ創立ノ方法ニ依リ商業會社ヲ類別スルトキハ之ヲ分テ左ノ三種トナスコトヲ得ヘシ

- 一、勅書ニ依リ創立シタル會社
- 二、特發條令ニ依リ創立シタル會社
- 三、制定條令ニ依リ創立シタル會社

右ハ英國法ニ於テ見ル所ノ區別ニシテ國王ヨリ特ニ璽ヲ鈴シタル勅書ヲ賜ハリ會社ノ設立ヲ認可シ之ニ法律上無形人タルノ資格ヲ付與スルトキハ其會社ハ勅書ニ依リ創立シタルモノナリ中世英國ニ於テ起リタル會社ノ過半ハ大概此方法ニ依リ設立シタルモノナレモ今日ニ至テハ會社ハ概テ條例ニ基キ設立セラル、

(第二編會社ノ創立)

コトハナリタリ故ニ若シ政府ニ於テ或ル會社ノ設立ヲ認可スル爲メ特ニ條例ヲ發シタルトキハ其會社ハ則チ特發條例ニ依リ設立シタルモノナリトス我國ノ日本銀行及橫濱正金銀行ノ如キハ則チ其一例ナリト云フヘシ蓋日本銀行ハ政府ノ特ニ發シタル日本銀行條例ニ依リ橫濱正金銀行ハ橫濱正金銀行條例ニ依リ設立シタルモノナレハナリ之ニ反シ一會社ノ創立ニ際シ政府ヨリ特ニ條例ヲ發スルニ非スシテ政府ニ於テ廣ク一般ニ會社條例ヲ制定シ何人ト雖モ凡ソ會社ヲ設立セントスルモノハ該條例ニ準據シ設立スルコトヲ得ヘシト定メタル場合ニ於テ其條例ニ準據シ會社ヲ創立シタルトキハ該會社ハ則チ制定條例ニ據リ創立シタルモノトス我國立銀行條例ノ如キハ銀行ニ關スル制定條例ニ

シテ何人ニテモ此條例ニ基キ國立銀行ヲ創立スルコトヲ得ルモノトス又英國ニ於テ^{イギリス}イギリスヤ女皇即位第二十五年及第二十六年第八十九章ノ法令ヲ以テ發布シタル千八百六十二年ノ會社條例及^{イギリス}イギリスヤ女皇即位第三十年及第三十一年第三百三十一章ヲ以テ發布シタル千八百六十七年ノ會社條例ノ如キモ又均シク制定條例ニシテ特發條例又ハ勅書ニ據リ創立シタルモノヲ除クノ外廣ク一般ニ通常ノ合本會社ニ通用スヘキ條例ナリ又^{イギリス}イギリスヤ女皇即位第三十三年及第三十四年第六十一章ヲ以テ發布シタル千八百七十一年ノ生命保險會社條例ノ如キ又一ノ制定會社條例ニシテ廣ク生命保險會社ニ適用スヘキモノトス勅書ニ依リ創立シタル會社ハ本邦ニ於テ未タ曾テ其例ヲ見サル

所ニシテ泰西諸國ニ於テモ輒近亦絶テ之ヲ凡サルナリ又特發條例ニ依リ設立シタル會社ハ我國ニ於テ既ニ二三ノ例ナキニアラスト雖モ商法制定ノ後ニ於テハ會社ハ其規定シタル方法ニ依テ以テ設立セラルヘキカ故ニ勅書ニ依リ又ハ特發條例ニヨリ會社ノ設立スル方法ヲ説明スルハ頗ル迂遠ノ事ト謂ハサルヘカラス」我商法草案ニ依レハ合名會社若クハ合資會社ヲ設立セントスルモノハ會社契約ナルモノヲ作り之ニ依テ會社ノ性質、目的、社員相互ノ權利義務等ヲ規定シ而シテ後所轄裁判所ニ於テ會社設立ノ登記ヲ受ケ其公告ヲ受クヘキモノトス又株式會社ヲ設立スルニ方リテハ發起人先ツ目論見書及假定款ヲ作り各自之ニ署名捺印シ會社ヲ設立スヘキ地ノ地方長官ヲ經由シテ之ヲ主務省ニ差出

シ發起ノ認可ヲ受ケ其認可ヲ得タル後目論見書ヲ公告シ株主ヲ募集シ總株式ノ申込アリタル時ハ創業總會ヲ開キ取締役及監查役ノ撰擧ヲ行ヒ總會ノ終リタル後發起人ハ地方長官ヲ經由シテ主務省ニ會社設立ノ免許ヲ請ヒ其免許アリタル時ハ所轄裁判所ニ於テ會社設立ノ登録ヲ受ケ之ヲ公告スヘキモノトス」右合名會社及合資會社ノ會社契約及株式會社ノ目論見書ハ英國法律ニ於テ「メランダム、オフ、アソシエーション」即チ結社約定書ト稱スルモノト其性質毫モ異ナルヲナク又株式會社ノ定款ハ即チ英國會社條例ノ「アーチクルス、オフ、アソシエーション」ト稱スルモノニシテ是等會社設立ノ手續ニ於テハ我商社草案ノ英國法ニ類似スルモノ甚タ勘カラストス故ニ今本篇ニ於テ英國法ノ規定

ヲ説明スルモ亦頗ル裨益スル所ナクンハアラサルナリ且ツ我商
法草案タルヤ會社設立ノ事ニ關シテハ唯其大要ヲ示シタルニ止
リ實際會社ヲ設立スルニ方リ其會社契約又ハ目論見書ハ果シテ
如何ナル体裁ニ依リ之ヲ認ムヘキヤ又定款ヲ以テ規定スヘキ事
項ハ果シテ何等ノ事柄ナルカ等ノ点ニ至リテハ該草案ノ上ニ於
テ之ヲ知ル能ハサルヲ以テ彼ノ會社事業ノ頗ル盛大ナル英國ニ
於テ實際行ハル、手續ヲ示スハ最モ緊要ナリト信ス依テ左ニ千
八百六十二年英國會社條例中會社設立ニ關スル條項ヲ抄録シ以
テ讀者ノ參考ニ供セントス

第一章 結社約定書

英國ノ一千八百六十二年ノ會社條例ニ依レハ凡ソ會社ヲ組織

以テ商業ヲ營マント欲スル者ハ發起人七名以上ヲ設ケ發起人ニ
於テ結社約定書ニ記名シタル上該條例ノ定メタル手續ヲ履行シ
以テ有限若クハ無限責任ノ會社ヲ組織スルコトヲ得ルモノトス
而シテ該條例ノ七名以上ハ人ト云ヘルハ所謂法律上ノ無形人ヲ
モ包含スル文字ナルヲ以テ一ノ會社ニシテ若シ其設立條例又ハ
定款等ニ依テ他ノ會社ノ株主タルコトヲ許サレタル以上ハ該會
社ハ他ノ會社ノ發起人ノ内ニ加ハルコトヲ得ヘシ
株主ノ責任ハ結社約定書ニ依リ定ムヘキモノニシテ其株主ノ責
任如何ニ依リ結社約定書ニ記載スヘキ事項ヲ異ニスルヲ以テ左
ニ有限責任會社、保証有限責任會社、及無限責任會社ノ結社約定書
ニ記載スヘキ事項ヲ各別ニ枚舉スヘシ

(一) 有限責任會社

英國法ニ依レハ有限責任會社ヲ組織シ會社ノ負債辨償ニ對シ株主ノ負擔スヘキ責任ヲ其株金ノミニ止メント欲セハ結社約定書ニ左ノ事項ヲ掲ケサル可カラス

一 會社ノ名

[注意]有限責任會社ノ名稱ヲ記載スルニハ必ス有限責任何會社ト認ムヘシ

二 會社ノ本店ヲ置クヘキ地

三 會社營業ノ目的

四 株主ノ責任ハ有限ナルコト

五 會社ノ登錄資本金高其株數及一株ノ金高

右ノ事項ヲ掲ケタル約定書ニハ發起人等一同記名シ各自其名前ノ上ニ自己ノ引受クヘキ株數ヲ記載スヘキモノトス

(二) 保證有限責任會社

保證有限責任會社ノ結社約定書ニハ會社ノ名稱本店ヲ置クヘキ地及其營業ノ目的ヲ掲ケタル後第四項トシテ左ノ條項ヲ記載スヘキモノトス即チ

各社員ハ其社員タルノ間若クハ其退社シタル後一ケ年以内ニ於テ會社解散スルトキハ其社員タル間ニ生シタル會社ノ負債辨償ノ爲メ及會社解散ノ雜費支辨ノ爲メ若干ノ金額ニ超過セサル必要ノ金額ヲ會社ヘ拂込ムヘキコトヲ約スルコト是ナリ
保證有限責任會社ノ資本金ハ之ヲ株式トシテ分タサルヲ以テ資

本金額及株數ハ結社約定書ニ記載セサルヲ常トス然レトモ若シ保證有限責任會社ニシテ其資本ヲ株式トシテ分チタルトキハ株數等ハ定款ニ記載スヘキモノトス

今保證有限責任會社ノ社員ノ責任ヲ定メタル條項ノ文例ヲ擧ク
レハ即チ左ノ如シ

本會社ノ社員ハ其社員タルノ間若クハ其退社シタル後一ケ年以内ニ於テ會社ヲ解散スルトキハ其社員タルノ間ニ生シタル債負辨償及會社解散ノ雜費支辨ノ爲メ必要ノ金額ヲ會社ヘ拂込ムヘシ但右解散ニ際シ各社員ノ拂込ムヘキ金額ハ十磅ニ止マルモノトス

(三) 無限責任會社

無限責任會社ノ結社約定書ニハ左ノ三項ヲ掲ケ第一節ニ掲ケタル結社約定書ノ第四項第五項及第二節ニ掲ケタル結社約定書ノ第四項ハ之ヲ掲ケサルモノトス

- 一 會社ノ名稱
- 二 會社ノ本店ヲ置クヘキ地方ノ名
- 三 會社設立ノ目的

第二章 會社ノ定款

第一節 有限責任會社ノ定款

英國法ニ依レハ保證有限責任會社及無限責任會社ヲ組織スルニ當テハ其設立認可ヲ出願スルニ先チ結社約定書ニ記名シタル發起人等ハ會社事務整理ノ方法ヲ規定シタル定款ヲ認メ之ニ記名

(第二編會社ノ創立)

スヘキモノトス

有限責任會社ヲ設立セントスル者ハ必スモ認可ヲ出願スルニ先キ定款ヲ認ムルヲ要セサルモノニシテ若シ定款ヲ認メス只結社約定書ノミヲ以テ會社設立ノ登録ヲ願出ル時ハ千八百六十二年ノ會社條例別冊第一號ニ掲ケタル有限責任會社事務取扱章程ヲ以テ其定款ト爲シタルモノト認定ス依テ左ニ右章程ヲ譯載シ以テ其一班ヲ示スヘシ

有限責任會社事務取扱章程

有限責任會社ノ發起人ニ於テ定款ヲ認メ以テ該會社ノ事務取扱ノ方法ニ關シ特ニ此章程ニ準據セサルノ點ヲ明記セサル以上ハ此章程ヲ以テ其定款ト爲シタルモノト認定ス而シテ此章

程ハ千八百六十二年ノ會社條例ニ基キ設立シタル一切ノ有限責任會社ニ適用スヘキモノトス

株式ノ事

第一條 會社ノ株式ニ對シ二名以上ノ共同所有者アルトキハ其一名ヨリ差出シタル利益配當金受取証書ハ共同所有者各自ニ對シ其効アルヘシ

第二條 株主ハ一志若シハ株主總會ニ於テ決議シタル一志以內ノ手數料ヲ支拂ヒ其所有株式及其拂込ミタル金額ヲ明記シ會社ノ印章ヲ押シタル株券ヲ要求スルコトヲ得

第三條 右ノ株券磨滅シタルカ又ハ之ヲ紛失シタルトキハ前條ノ手數料ヲ支拂ヒ更ニ其書替ヲ要求スルコトヲ得

株金徴收ノ事

第四條 取締役ハ株主カ其所有株券面ノ金額ノ内未タ其拂込ヲ爲サ、ル金額ニ對シ取締役ノ會議ニ於テ決議シタル金額ノ徴収ヲ爲スコトヲ得但拂込日限ヨリ少ナクトモ二十一日前ニ各株主ヘ徴收ノ通知ヲ爲スヘシ且ツ株主ハ取締役ニ於テ指定セル時日及場所ニ於テ其指名シタル者ニ徴收金額ヲ拂込マサルヘカラス

第五條 取締役ニ於テ徴收ヲ爲スノ決議ヲ下シタル日ヲ以テ徴收ノ日トス

第六條 右拂込ヲ爲スヘキ日ニ於テ拂込ヲ怠リタル株主ハ其拂込ヲ爲スヘキ日ヨリ現ニ之ヲ拂込ミタル日ニ至ル間ノ

日數ニ應シ年五分ノ割合ヲ以テ其拂込ムヘキ金額ニ對スル利子ヲ支辨スヘシ

第七條 若シ株主ニ於テ其所有株券面ノ金額ニ對シ現ニ徴收セラレタルヨリ以上ノ金額ヲ一時ニ會社ヘ拂込マント欲スルトキハ取締役ハ之ヲ許スコトヲ得此場合ニ於テハ取締役ハ該株主ト協議ノ上徴收金額ニ超過シタル拂込金額ニ對シ相當ノ利子ヲ附シ右株主ニ拂渡スコトヲ得ヘシ

株式讓渡ノ事

第八條 會社ノ株式讓渡證書ニハ讓渡人及讓受人共ニ連署スヘシ而シテ會社ノ株主名簿ニ讓受人ノ氏名ヲ記入スル迄ハ讓渡人ヲ以テ株主ト見做スヘシ

第九條 讓渡證書ハ左ノ書式ニ依ルヘキモノトス

何國何町村何番地甲某ハ其所有ニ係ル何々會社ノ株式
第何号ヲ代價何程ニテ何國何町村乙某ニ讓渡候就テハ
該株式ニ關シ從來讓渡人ノ有シタル一切ノ權利義務ハ
將來讓受人乙某ニ於テ有スヘキハ勿論後日ニ至リ乙某
ヨリ他人ニ讓渡候節ハ其讓受人ニ於テ又乙某ノ死後ニ
在テハ其遺產管財人ニ於テ之ヲ引受クヘキ儀ニ有之候
將又讓受人乙某ハ該株式ニ付甲某ノ有スル一切ノ權利
義務ヲ引受クヘキコトヲ茲ニ約諾致候仍テ証書如件

第十條 會社ニ拂込ムヘキ金額ヲ未タ拂込マサルカ又ハ會
社ニ對シ負債アル株主ニ於テ其所有株式ヲ他人ニ讓渡サン

ト欲スルトキハ會社ハ其讓渡ヲ認可セサルノ權ヲ有ス

第十一條 會社ハ毎年定式總會開會前十四日間ハ株式ノ讓
渡ヲ其帳簿ニ記入スルコトヲ拒絕スヘシ

株式相續ノ事

第十二條 株主死亡シタルトキハ其遺產管財人ハ死者ノ所
有株式ニ關スル一切ノ權利義務ヲ引繼クヘキモノトス

第十三條 株主ノ死亡若シハ破産ニ依リ又ハ株式ヲ所有セ
ル婦女ノ結婚ニ依リ其株式ニ係ル一切ノ權利義務ヲ相續シ
タル者ハ會社ニ於テ必要ト認ムル方法ニ依リ右死亡又ハ破
産ノ宣告又ハ結婚アリタルコトヲ證明シタル上株主トシテ
株主名簿ニ登録セラル、コトヲ得

(第二編會社ノ創立)

第十四條 株主ノ死亡及破産又ハ株式ヲ所有スル婦女ノ結婚ニ依リ其株式ニ係ル一切ノ權利義務ヲ引繼キタル者ハ自ラ株主トシテ株主名簿ニ登録セラル、コトヲ辞シ他人ヲ指名シテ其株式ノ譲受人トナシ之ヲ株主トシテ登録セラレンコトヲ要求スルノ權アリ

第十五條 右ノ如ク他人ヲ指名シ以テ株式ノ譲受人ト爲サント欲スル者ハ其指名シタル者ニ宛テ株式讓渡證書ヲ認メ以テ其之ヲ指名シタルコトヲ證明スヘシ

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ其株式ヲ他人ニ讓渡サントスルモノカ果シテ該株式ヲ左右スルノ權アルコトヲ證明スル爲メ取締役ニ於テ必要トスル證據物件ヲ讓渡證書ニ添ヘ

會社へ差出スヘシ左スレハ會社ニ於テハ直チニ其譲受人ヲ株主トシテ登録スヘシ

株式沒收ノ事

第十七條 若シ徵収金拂込ノ日限ニ至リ拂込ヲ爲サ、ル株主アルトキハ取締役ハ其拂込延滞ニ依リ生シタル利子及雜費ヲ記載シ徵収金額ト共ニ之ヲ拂込ムヘキ旨ヲ記シタル催促狀ヲ其株主へ送ルヘシ

第十八條 拂込催促狀ニハ徵収金及ヒ其拂込延滞ニ依リ生シタル利子雜費等ヲ拂込ムヘキ日限及場所ヲ指定スヘシ但其拂込ノ場所ハ會社ノ本店又ハ常ニ會社ノ徵収金ヲ拂込ムヘキ場所ナリトス

又右催促狀ニハ若シ其指定シタル時日及場所ニ於テ拂込ナキニ於テハ拂込延滞ノ株式ハ沒收セラル、ヤモ難計旨ヲ記載スヘシ

第十九條 若シ株主ニ於テ催促狀ヲ以テ要求セラレタル金額ノ支拂ヲ爲サ、ルトキハ其指定シタル期日後ニ至リ取締役ハ拂込延滞ノ株式ヲ沒收スルノ決議ヲ爲スコトヲ得但日限經過シタル後ト雖モ沒收ノ決議以前ニ於テ株主ヨリ徴収金額及其拂込延滞ニ依リ生シタル利足雜費等一切拂込ミタルトキハ取締役ハ株式沒收ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條 右ノ手續ニ依リ沒收シタル株式ハ會社ノ所有ニ歸シタルモノト見做スヘシ而シテ會社ハ總會ノ適當ト見認

メタル方法ニ依リ之カ處分ヲ爲スコトヲ得

(註)會社ハ沒収ニ依リ其所有ニ歸シタル株式ヲ賣買ニ付シ之ニ對スル株券ヲ更ニ發行シテ其買主ヘ渡スコトヲ得ヘシ

第二十一條 株主ハ假令其所有株式ヲ沒收セラレタリトモ該株式ニ對シ沒收以前ニ要求セラレタル徴収金ハ一切之ヲ會社ヘ拂込マサルヘカラス

第二十二條 會社ニ於テ第何号株式ニ對シ徴收ノ要求ヲ爲シタレトモ拂込アラサルヲ以テ取締役會議ノ決議ニ依リ之ヲ沒收スル趣ヲ帳簿ニ記入シ然ル後該株式ヲ賣拂ヒ代金ノ受取證ヲ買主ニ渡シタルトキハ買主ノ權利ハ爭フヘカラサ

ルモノトス而シテ會社カ該株式ノ所有權ヲ證明セル株券ヲ買主ニ渡シタルトキハ買主ハ則チ會社ノ株主トナリ右株式賣買以前ニ於テ該株式ニ對シ要求セラレタル一切ノ徵收金ハ之ヲ仕拂フノ義務ナク又會社ニ於テハ買主ヨリ拂込タル代金ヲ如何ナル費途ニ使用スルモ又賣買ノ手續ニ於テ假令瑕瑾アリタルニモセヨ買主ノ權利ハ正當ニシテ爭フヘカラサルモノトス

株式ヲ變シテ差入資本金トナスコト

(註)會社ノ資本金ヲ株式トシテ分チタル時ハ社員ハ則チ株主ニシテ其會社ニ差入タル資本金ハ之ヲ株金又ハ株式ト稱ス又會社ノ資本金ヲ株式トシテ分チタル時ハ各社

員ノ差出シタル資本金ハ之ヲ英語ニテ「ストック」ト云フ然レトモ本邦ニハ之ニ該當スル一定ノ譯語アラサルヲ以テ本書ニ於テハ之ヲ差入資本金ト稱スヘシ

第二十三條 取締役ハ總會ノ決議ヲ經テ金額拂込濟ノ株式ヲ纏メテ差入資本金トナスコトヲ得

第二十四條 株式ヲ變シテ差入資本金トナシタル時ハ社員ハ自己持分ノ全部若クハ一部ヲ株式ト同一ノ手續ニ依リ他人ニ讓渡スコトヲ得

第二十五條 社員ハ各自持分ノ資本金額ニ應シ會社營業上ノ利益配當ヲ受クヘキモノニシテ其總會ニ於テ有スル所ノ議決權及其他會社ノ事務ニ關シ有スル所ノ一切ノ權利ハ會

社ノ資本ヲ株式トシテ分チタル場合ニ於ケルト同一ナルヘシ

資本金増加ノ事

第二十六條 會社ノ取締役ハ總會ノ決議ヲ經タル上新ニ株券ヲ發シ以テ資本金ヲ増加スルコトヲ得而シテ其増加資本ノ總額其株數及一株ノ金高等ハ若シ總會ニ於テ決定シタルトキハ其決議ニ依リ之ヲ定ムヘク若シ總會ニ於テ決定セサルトキハ取締役ニ於テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得

第二十七條 資本金増加ヲ決議シタル總會ニ於テ特ニ反對ノ決議ヲ下サ、ル以上ハ各株主ハ其現在所有ノ株數ニ應シ新株式ヲ引受ルノ權アルモノトス故ニ取締役ハ各株主ノ引

受クヘキ權利アル株數ヲ明記シ且ツ何日迄ニ株金ノ若干分ヲ拂込マサル株主ハ之ヲ引受クルノ意ナキモノト見做スヘキ旨ヲ記シタル通知書ヲ各株主ヘ送付スヘシ而シテ若シ右日限ヲ經過スルカ又ハ株主ヨリ新株式ヲ引受ケサル旨ノ回答アリタルトキハ取締役ハ其會社ニ最モ有益ナリト思惟スル方法ニ於テ新株式ヲ處分スルコトヲ得

第二十八條 新株募集ニ依リ増加シタル資本金ハ増加以前ノ資本金ト更ニ其性質異ラサルモノトス故ニ増加以前ノ資本金ニ關シ定メタル拂込沒収及其他ニ關スル規則ハ渾テ増加資本ニモ亦適用スヘキモノトス

總會ノ事

(第二編會社ノ創立)

第二十九條 第一回總會ハ會社設立登録後六ヶ月以内ニ於テ開クヘキモノトス其開會ノ時日及場所ハ取締役ニ於テ決定スヘシ

第三十條 第二回以後ノ總會ハ總會ノ決議ヲ以テ定メタル時日及場所ニ於テ開クヘシ若シ總會ニ於テ開會ノ時日及ヒ場所ヲ指定セサルトキハ毎年二月第一月曜日ニ於テ開會シ會場ハ取締役ニ於テ之ヲ決定スヘキモノトス

第三十一條 前二條ニ掲ケタル總會ハ之ヲ定式總會ト稱シ其他ノ總會ハ凡テ之ヲ臨時總會ト稱ス

第三十二條 取締役ニ於テ至當ト認メタルトキハ臨時總會ヲ召集スルコトヲ得且又取締役ハ株式總數五分ノ一以上ニ

當ル株主ノ連署ヲ以テ臨時總會召集ノ要求ヲ受ケタルトキハ之ヲ召集セサル可カラス

第三十三條 株主ニ於テ臨時總會召集ノ要求ヲ爲ストキハ該總會ノ議事ニ附セントスル事項ヲ明記シ其要求書ヲ會社ノ本店ニ差出スヘシ

第三十四條 取締役右ノ要求書ヲ受ケタルトキハ直ニ臨時總會召集ニ取掛ルヘシ若シ要求書ヲ差出シタルヨリ二十一日内ニ其手續ヲ爲サ、ルトキハ總會召集ヲ要求シタル株主ニテモ又ハ他ノ株主ニテモ召集ノ要求ヲ爲スニ必要ナル人員相集リ自ラ臨時總會召集ノ手續ヲ爲スコトヲ得

總會ニ關スル手續

(第二編會社ノ創立)

第三十五條 總會ヲ召集スルトキハ少クトモ開會ヨリ七日以前ニ召集ノ通知ヲ各株主ヘ送付スヘシ其通知書ニハ開會ノ場所及時日ヲ明記シ若シ特別事務アルトキハ其事務ノ大畧ヲモ記載スヘシ而シテ該通知書送付ノ方法ハ第九十五條第九十六條及第九十七條ニ掲ケタル手續又ハ總會ノ決議ヲ以テ規定シタル其他ノ手續ニ準據スヘキモノトス然ル上ハ假令株主中此通知ヲ接受セサル者アルモ之ヲ理由トシテ其總會ノ決議ヲ無効タラシムルコトヲ得ス

第三十六條 臨時總會ニ於テ行フタル一切ノ事務及定式總會ニ於テ行フタル一切ノ事務ハ利益分配方ニ係ル議事會計報告及會社營業ノ景況ニ係ル取締役ノ報告ヲ除クノ外盡ク特

別事務ナリトス

第三十七條 總會ニ於テハ左ノ人員出席スルニ非レハ利益分配ノ外他ノ議事ニ取掛ルコトヲ得ス

- 一 株主總會開會ノ時株主總數十名以下ナル時ハ五名
- 二 若シ十名以上ナルトキハ株主總數五十名ニ至ル迄ハ五名ノ株主ヲ増加スル毎ニ一名ヲ加フ
- 三 若シ株主總數五十名ヲ超過シタルトキハ十名ノ株主ヲ増加スル毎ニ一名ヲ加フ

但シ株主二十名ノ出席アルニ於テハ株主ノ總數如何ニ關セス直チニ議事ヲ行フコトヲ得

第三十八條 若シ開會ノ時刻ヨリ一時間ヲ經過スルモ尙ホ

(第二編會社ノ創立)

必要ノ出席員ヲ得サルトキハ株主ノ要求ニ依リ召集シタル總會ハ之カ爲メニ解散シ其他ノ總會ハ次週ノ同日迄延會シ當日ト同一ノ時刻及場所ニ於テ開會スヘシ若シ延會ニ於テ再ヒ必要ノ出席員ヲ得サルトキハ該總會ハ無期延會スヘキモノトス

第三十九條 總會ノ議長ハ取締役會議ノ議長ヲ以テ之レニ充ツ

第四十條 若シ取締役會議ニ議長アラサルカ又ハ開會ノ時刻ヨリ十五分ヲ經過スルモ尙ホ議長出席セサルトキハ臨會ノ株主中ヨリ議長一名ヲ撰擧スヘシ

第四十一條 議長ハ總會ノ決議ヲ經タル上幾度ニテモ總會

ヲ順延スルコトヲ得又一ノ場所ニ於テ開キタル總會ノ延會ヲ他ノ場所ニ於テ開クコトヲ得延會ニ於テハ前會ニ於テ議事ノ結了ニ至ラザリシモノノミヲ議スヘシ

第四十二條 議長ハ總會ノ決ヲ取ルニ際シ五名以上ノ株主ニ於テ投票ノ方法ニ依リ決ヲ取ランコトヲ要求セサル以上ハ簡便ノ方法ニ依リ決議ノ如何ヲ概定スルコトヲ得而シテ斯クノ如クニシテ決ヲ取り以テ之ヲ會社ノ議事録ニ記入シタルトキハ可決否決ノ票數ヲ詳ニ記載セサルモ其議事録ハ決議如何ヲ證明スルニ方テハ確定證據ノ効アルモノトス
〔註〕本條ノ簡便ノ方法トハ舉手法及其他簡便ノ採決法ヲ謂フ

第四十三條 若シ五名以上ノ株主ニ於テ投票ニ依リ決ヲ採
 ランコトヲ求ムルトキハ議長ノ指定シタル方法ニ依リ投票
 ナ爲シ其票數ニ依テ總會ノ決ヲ採ルヘシ若シ票數同一ナル
 トキハ議長之ヲ決スヘシ

株主ノ議決權ノ事

第四十四條 各株主ハ其所有株數十株迄ハ一株毎ニ一個ノ
 議決權ヲ有シ十一株以上百株ニ至ル迄ハ五株毎ニ一個ヲ増
 加シ百一株以上八十株毎ニ一個ヲ増加スヘシ

第四十五條 若シ株主タル者白痴瘋癲若クハ幼者ナルトキ
 ハ其管財人若クハ後見人ニ於テ本人ニ代リ議決權ヲ行フコ
 トヲ得

第四十六條 若シ二名以上ノ人一株若クハ數株ニ對スル共
 同所有者ナルトキハ會社ノ株主名簿ヘ其姓名記載ノ順ニ依
 リ只筆頭ノモノ、ミ議決權ヲ行フコトヲ得其他ノ共同所有
 者ハ之ヲ行フコトヲ得サルモノトス

第四十七條 株主ハ其會社ヘ拂込ムヘキ金額ヲ拂終リタル
 後ニ非レハ議決權ヲ行フコトヲ得ス又會社ノ設立登録ノ日
 ヨリ三ヶ月以上經過シタル後ニ於テ開キタル總會ニ於テハ
 賣買讓與ニ依リ得タル株式ニ關シ株主ノ有スル議決權ハ其
 賣買讓與ノ後三ヶ月以上經過シタル後ニ非レハ之ヲ行フコ
 トヲ得サルモノトス

第四十八條 議決權ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

第四十九條 議決權ヲ行フヘキ代理人ヲ委任スルニハ株主本人ノ記名シタル委任狀ヲ以テスヘシ若シ株主本人會社ナルトキハ其會社ノ印章ヲ押捺シタル委任狀アルヲ要ス而シテ右委任狀ニハ本人ノ記名若クハ印章ノ正確ナルコトヲ保證スル一名若クハ一名以上ノ保證人アルヲ要ス

但會社ノ株主ニ非サル者ヲ以テ代理人トナスコトヲ得ス
第五十條 右委任狀ハ總會ヲ開クヘキ時刻ヨリ少クトモ七十二時間以前ニ會社ノ本店ヘ差出スヘシ而シテ委任狀ハ之ヲ認メタル日ヨリ十二月ヲ經過シタルトキハ其効ヲ失フモノトス

第五十一條 委任狀ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

拙者ハ有限責任何々會社ノ株主ニシテ議決權何個ヲ有スル者ニ有之候處今般何地何町何番地何ノ誰ヲ以テ拙者ノ代理人トナシ何月何日開會ノ定式(又ハ臨時)總會及其延會(又ハ何年ニ於テ開會セラレヘキ一切ノ總會)ニ於テ拙者ノ名義ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ委任致候依テ委任狀如件

何地何町何番地

年月日

何 之 誰

右何之誰ハ拙者ノ目前ニ於テ記名シタル者ニシテ其記名ノ正確ナルハ拙者ノ保證スル處ニ有之候依テ保證如件

何地何町何番地

何 之 誰

有限責任何々會社御中

取締役ノ事

第五十二條 取締役何名ヲ置クヘキヤ又會社設立ノ上ハ何人ヲ以テ取締役トナスヘキヤハ結社約定書ニ記名シタル發起人等ニ於テ決定スヘキモノトス

第五十三條 取締役ノ指名アル迄ハ結社約定書ニ記名シタル發起人ヲ以テ取締役ト見做スヘシ

第五十四條 將來取締役ニ與フヘキ手當金及第一回總會ヲ開クニ至ル迄該會社ノ爲メニ取締役ノ盡シタル勞働ニ酬ユ

ル爲メ之ニ配當スヘキ賞與ノ金額ハ總會ノ決議ヲ以テ定ムヘシ

取締役ノ權限ノ事

第五十五條 會社ノ營業事務ハ一切取締役ニ於テ取扱フヘキモノトス而シテ會社ヲ設立シ及ヒ其認可ヲ得ル爲メ支出シタル一切ノ費用ハ取締役之ヲ會社ノ資本金中ヨリ支辨スルコトヲ得又本條例千八百六十二年ノ會社條例若シハ此章程ヲ以テ特ニ總會ノ決議ヲ要スト定メタルモノ、外會社ニ屬スル一切ノ權利ハ取締役之ヲ執行スルコトヲ得然レトモ取締役ハ本章程又ハ本條例ヲ以テ定メタル規則及ヒ總會ノ決議并ニ本條例及此章程ノ範圍内ニ於テ規定シタル内規ニ

(第二編會社ノ創立)

違背スルコトヲ得ス

但總會ノ決議ヲ以テ新ニ内規ヲ制定シ又ハ改正シタルトキ其制定若クハ改正以前ニ在テ取締役ノ正當ニ爲シタル所爲ハ之ヲ後日ノ内規ニ照シ無効ナリトスルコトヲ得ス

第五十六條 取締役ハ其在職中取締役員中ニ欠員ヲ生スルモノアルモ其職ヲ繼續シ依然會社ノ事務ヲ取扱フコトヲ得ヘシ

取締役退職ノ事

第五十七條 取締役ハ左ノ場合ニ於テ退職スヘシ

- 一 會社ヨリ手當金ヲ給與スヘキ他ノ職ニ任セラレタルトキ

二 破産者トシテ宣告セラレタルカ又ハ現ニ其負債ヲ辨償スル能ハサルトキ

三 會社カ他人ト取結ヒタル契約ニ付取締役カ利害ノ關係ヲ有スルトキ

但會社カ他ノ會社ト契約ヲ結ヒ又ハ他ノ會社ヨリ物品ヲ買取り又ハ之ニ工事等ヲ依頼シタル場合ニ於テ取締役其對手方ノ會社ノ社員ナルモ其ハ退職ノ原由ト爲スニ足ラス然レトモ其契約賣買又ハ工事依頼等ノ事項ニ關シテハ其取締役ハ議決權ヲ行フコトヲ得ス若シ投票シタルトキハ其投票ハ無効タルヘシ

取締役改撰ノ事

(第二編會社ノ創立)

第五十八條 會社設立ノ後開キタル第一回ノ總會ニ於テハ取締役一同其職ヲ退クヘシ而シテ會社設立ノ翌年以後ハ毎年第一回ノ總會ニ於テ取締役總數ノ三分一若シ三分シ難キ時ハ成ルヘク三分一ニ近キ人員退職スヘキモノトス

第五十九條 第一回總會ヲ開キタル翌年及翌々年ニ於テ取締役中何人カ退職スヘキカノ點ニ關シ取締役中ニ於テ協議整ハサルトキハ株主ノ投票ヲ以テ之ヲ決スヘシ

會社設立ノ後第三年目以後ニ在テハ毎年既ニ三年間取締役ノ職ニアリタル者退職スヘシ

第六十條 退職シタル取締役ハ再撰セラル、コトヲ得

第六十一條 前數條ニ依リ退職スヘキ取締役アルトキハ株

主ハ總會ニ於テ其退職シタル取締役ト同數ノ取締役ヲ更ニ撰擧スヘシ

第六十二條 若シ取締役ノ改撰ヲ行フヘキ總會ニ於テ撰擧ヲ行フモ退職スヘキ人員ト同數ノ取締役撰擧セラレサルトキハ次週ノ同日マテ延會シ當日ト同一ノ時刻及ヒ場所ニ於テ更ニ撰擧會ヲ開クヘシ若シ該延會ニ於テ再ヒ必要ノ人員撰擧セラレサルニ於テハ交代者ノ未タ撰擧セラレサル取締役ハ翌年ノ總會迄其職ヲ繼續スヘシ此ノ如ク取締役ハ其交代者撰擧セララル、迄ハ其職ヲ繼續スルノ義務アルモノトス

第六十三條 會社ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ取締役ヲ増減シ且其増減シタル取締役ノ退職ノ順序ヲ決定スルコト

ヲ得

第六十四條 不慮ノ事故ニ依リ取締役ニ欠員ヲ生シタルトキハ取締役ノ決議ヲ以テ其欠員ヲ補充スルコトヲ得然レトモ此場合ニ於テ新任ノ取締役ハ其相續シタル取締役ノ退職スヘキ時期ニ至レハ其職ヲ去ラサルヘカラス

第六十五條 會社ハ總會ニ於テ出席株主ノ有スル議決權及代理人ヲ出席セシメタル株主ノ議決權四分ノ三ニ下ラサル同意ヲ得ルトキハ退職期限ヲ俟タスシテ取締役ヲ退職セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ議決權過半數ノ同意ヲ以テ他人ヲ撰擧シ之ニ代ラシムヘレ

此新任ノ取締役ハ其相續シタル取締役ノ退職スヘキ時期ニ

至レハ其職ヲ去ラサルヘカラス

取締役會議ノ事

第六十六條 取締役ハ事務取扱上便利ノ爲メ時々其會議ヲ開クヘシ取締役會議ハ適宜開閉シ其會議ニ係ル一切ノ事ヲ規定スルコトヲ得又其會議ヲ始ムルニ必要ナル出席員ノ數ヲ規定スルコトヲ得

右會議ニ於テ決ヲ取ルヘキ事項ハ多數決ニ依リ決スヘシ若シ票數同一ナルトキハ議長之ヲ決スヘシ又取締役ハ何時ニテモ必要ト認ムルトキハ取締役會議ヲ召集スルコトヲ得第六十七條 取締役ハ其會議ノ議長ヲ撰擧シ議長ノ任期ヲ規定スルコトヲ得然レトモ常置議長ヲ設ケサルカ又ハ議長

アルモ若シ開會ノ時刻ニ至リ出席セサルトキハ臨會ノ取締役ハ自分等ノ内ヨリ其會ノ議長一名ヲ撰擧スヘシ
 第六十八條 取締役ハ取締役中ヨリ何名ニテモ隨意ニ委員ヲ撰定シ其權限内ノ事ヲ委員會ニ委任スルコトヲ得而シテ右委員會ハ其委任サレタル權限内ノ事ヲ行フニ當テハ取締役全体ニ於テ設ケタル委員會規則ニ準據スヘシ
 第六十九條 委員會ハ其會長ヲ撰定スルコトヲ得若シ常置會長ヲ設ケサルカ又ハ開會ノ時刻ニ至リ會長出席セサルトキハ臨會ノ委員ハ其委員中ヨリ該會ノ會長ヲ撰擧スヘシ
 第七十條 委員會ハ適宜ニ其會議ヲ開閉スルコトヲ得而シテ決ヲ採ルトキハ多數決ニ依テ決スヘシ若シ票數同一ナル

トキハ會長之ヲ決スヘシ
 第七十一條 取締役會議又ハ其委員會ニ於テ決議ヲ下シタル後又ハ或ル取締役ニ於テ會社ノ爲メニ或ル取引ヲ決行シタル後其取締役ノ一名若クハ一名以上ノ撰擧ニ於テ瑕瑾アリタルカ又ハ其取締役ノ資格ヲ有セサリシ事ヲ後日ニ至リ發見スルモ其既ニ決シ或ハ行ヒタルコトハ右ノ撰擧ニ瑕瑾ナク其資格完全セルト同一ノ効アルヘシ
 利益金配當ノ事
 第七十二條 取締役ハ總會ノ決議ヲ經テ各株主ニ其株數ニ應シ配當スヘキ利益金額ヲ定ムルコトヲ得
 第七十三條 配當金ハ會社ノ營業上得タル利益金ノ内ヲ以

ヲ支辨スヘキモノニシテ他ノ金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
ス

第七十四條 取締役ハ利益配當金ノ分配案ヲ總會ノ議事ニ
付スルニ方リ先ツ會社ノ利益金ノ内ヨリ不時ノ支出ニ應ス
ルタメ又ハ毎年ノ利益配當額ヲ平均セシムル爲メ又ハ會社
ノ營業上使用セル建物等ノ修繕費ニ充ツル爲メ其至當ト見
認メタル金額ヲ差引之ヲ準備金トシテ積立以テ公債証書若
クハ其他信用スヘキ証書類ヲ買置キ又ハ銀行等へ預ケ置ク
コトヲ得

第七十五條 取締役ハ各株主へ配當スヘキ利益金ノ内ヨリ
株主ニ於テ會社へ拂込ムヘキ金額ヲ差引クコトヲ得

第七十六條 利益配當金ノ割合ヲ總會ニ於テ決シタルトキ
ハ第九十五條第九十六條第九十七條ノ手續ニ依リ該配當金
額ヲ各株主へ通知スヘシ而シテ若シ配當金割付ノ後三年ヲ
經過スルモ株主ニ於テ配當金ノ仕拂ヲ要求セサルトキハ取
締役ハ之ヲ沒收シ以テ會社ノ資本金中へ編入スルコトヲ得
第七十七條 利益配當金ニ對スル利子ハ會社へ對シ要求ス
ルコトヲ得ス

會計ノ事

第七十八條 取締役ハ左ノ事項ニ付キ詳細ノ取調ヲ爲シ之
ヲ會計簿ニ記入スヘシ

- 一 現ニ會社ノ營業上使用セル資本金額

(第二編會社ノ創立)

- 二 會社ノ支出、收入及各支出、收入ノ理由
 - 三 會社ノ支拂フヘキ金高及其受取ルヘキ金高
- 會社ノ會計簿ハ會社ノ本店ニ備ヘ置キ其營業時間中ハ各株主ノ閱覽ニ供スヘシ

但各株主ハ總會ニ於テ右閱覽ノ時刻及方法ニ關シ定メタル制限内ニ於テ之ヲ閱覽スヘシ

第七十九條 取締役ハ少クトモ毎年一回前一年間ノ支出、收入ノ報告ヲ總會ニ於テ爲サ、ルヘカラス此報告ハ總會ヲ開キタル日ヨリ三ヶ月以前ニ至ル迄ノ會計報告タルヘシ

第八十條 會計報告ニハ收入ノ總額及其内譯ヲ掲ケ各收入ノ理由ヲ示シ又支出ノ總額及其内譯ヲ掲ケ以テ本店支店ノ

經費役員及雇人ノ給料并ニ其他ノ費目ヲ詳カニスヘシ又其會計年度ノ收入中ヨリ差引クヘキ各支出額ヲ詳ニシ以テ其年ノ收支決算ヲ明ニシ若シ其年ノ支出ニシテ數年ニ跨リ之ヲ支辨スヘキモノアルトキハ其支出ノ幾分ノミヲ其會計年度ノ收入中ヨリ差引キタル理由ヲ詳記スヘシ

第八十一條 取締役ハ毎年一回資産貸借對照表ヲ調製シ之ヲ總會ヘ提出スヘシ而シテ右對照表ハ別紙ノ体裁ニ依リ會社ノ資産及負債ノ要領ヲ示スヘシ

第八十二條 資産貸借對照表ハ之ヲ印刷シ總會開會ノ當日ヨリ七日以前ニ第九十五條第九十六條及第九十七條ノ手續ニ依リ各株主ヘ送附スヘキモノトス

會計檢査ノ事

第八十三條 一名若クハ一名以上ノ檢査員ハ少クトモ毎年一回會社ノ會計簿ヲ調査シ資産貸借對照表ノ正確ナルヤ否ヤヲ檢定スヘシ

第八十四條 會社設立ノ際ハ取締役ニ於テ檢査員ヲ任命シ其後ハ總會ニ於テ之ヲ撰擧スヘシ

第八十五條 檢査員一名ナルト數名ナルトヲ問ハス以下檢査員ニ關スル條項ハ如何ナル場合ニ於テモ檢査員ニ適用スヘキモノトス

第八十六條 會社ノ株主タリト雖モ檢査員タルコトヲ得然レトモ會社ノ取引ニ付キ單ニ株主トシテ利害ノ關係ヲ有ス

ルノミニ止マラスシテ他ノ關係アルモノハ檢査員タルコトヲ得ス又會社ノ取締役及其他ノ役員ハ其在職中ハ檢査員タルコトヲ得サルモノトス

第八十七條 檢査員ノ撰擧ハ毎年定式總會ニ於テ之ヲ行フ第八十八條 會社設立ノ際取締役ニ於テ任命シタル檢査員ノ手當金ハ取締役之ヲ定メ其後ニ撰任シタル檢査員ノ手當金ハ總會ニ於テ決定スヘシ

第八十九條 檢査員ハ其退職ノ期ニ至リ再撰セラレハコトヲ得

第九十條 若シ不慮ノ事故ニ依リ總會ニ於テ撰任シタル檢査員中欠員ト生シタルトキハ取締役ハ直ニ右補欠撰擧ノ爲

メ臨時總會ヲ召集スヘシ

第九十一條 若シ前條ニ依リ検査員ノ撰擧ヲ爲サ、ルルハ商務省ハ會社ノ株主五名以上ノ申立ニ依リ其年ノ検査員ヲ任命シ會社ヨリ該検査員ヘ仕拂フヘキ手當金額ヲ定ムヘシ

第九十二條 取締役ハ資産貸借對照表一通ヲ各検査員ヘ送付スヘシ而シテ検査員ハ會社ノ會計簿及之ニ關係セル証書類ニ照シ該對照表ヲ検査スヘシ

第九十三條 各検査員ハ會社ノ會計ニ係ル一切ノ帳簿ノ目錄ヲ受取り總テ至當ノ時刻ニ於テハ會社ノ帳簿ヲ檢閲スルコトヲ得

検査員ハ右帳簿ヲ検査スルニ當リ自分ヲ補佐セシムル爲メ計算人又ハ其他ノ人ヲ雇入レ其給料ノ支辨ヲ會社ニ求ムルコトヲ得又右會計検査上必要ト見認ムルトキハ會社ノ取締役若クハ其他ノ役員ニ對シ帳簿記入ノ不審ノ点ニ付キ辨明ヲ需ムルコトヲ得

第九十四條 検査員ハ取締役ノ調製シタル資産貸借對照表及會計報告ヲ検査シ株主總体ヘ對シ其調査ノ報告ヲ爲スヘシ而シテ右検査員ノ報告ニハ取締役ノ調製シタル對照表ハ完全無疵ノモノニシテ能ク此章程ニ於テ要スル處ノ詳細ノ事項ヲ掲ケ且會社營業ノ情況ヲ正確ニ示シタルモノナルヤ否ヤヲ掲ケ若シ會計検査上不審ノ點アリタルニ依リ取締役ニ對シ之カ説明ヲ求メタルコトハ取締役ニ於テ之カ説明

ヲ爲シタルヤ否ヤ及其説明ハ不審ヲ辨明スルニ足ルモノナ
ルヤ否ヤヲ掲クヘシ
右検査員ノ報告ハ定式總會ニ於テ取締役ノ報告ト共ニ朗讀
スヘキモノトス

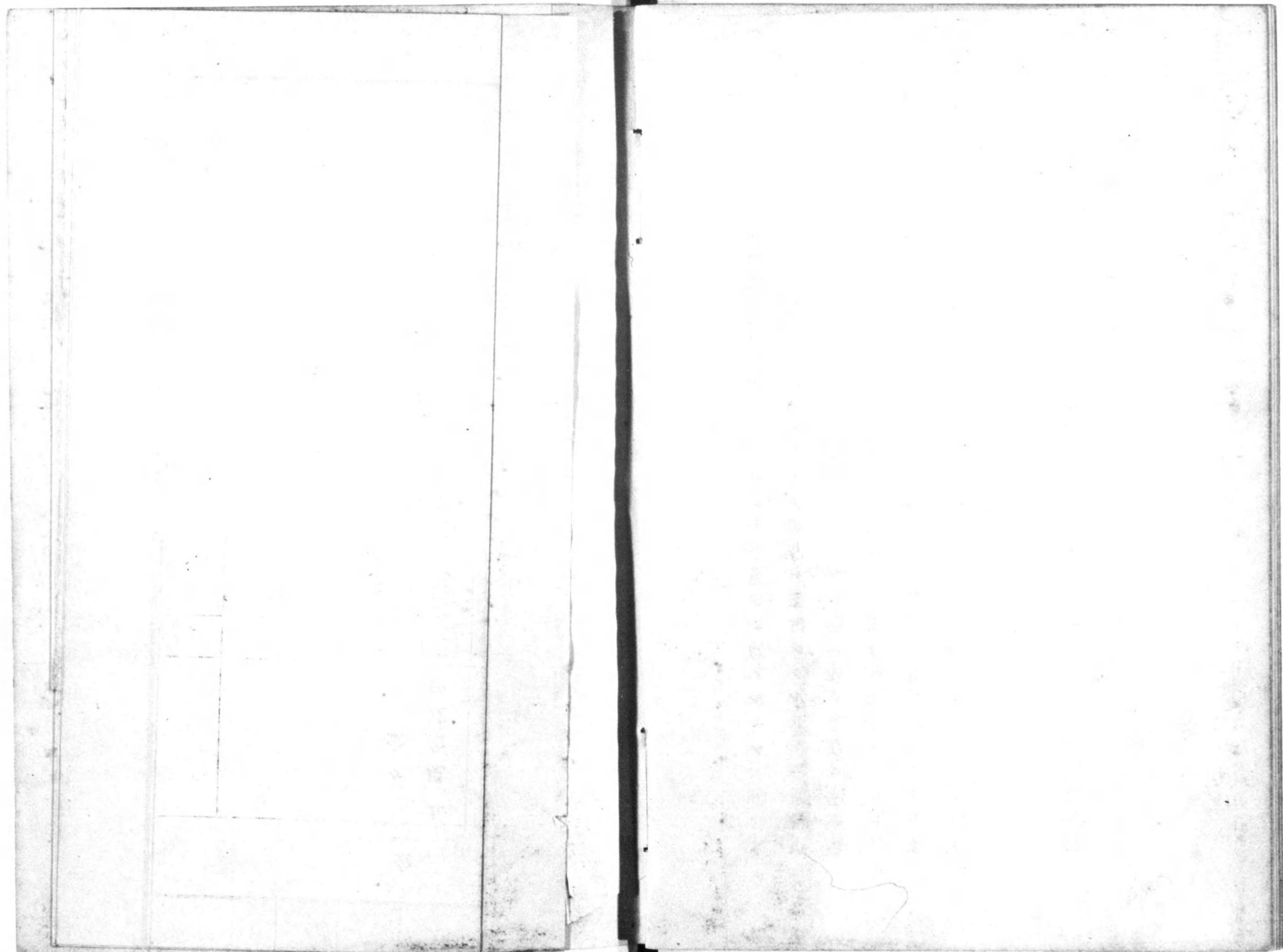
通知ノ事

第九十五條 會社ニ於テ株主へ通知ヲ爲サントスル時ハ通
知書ヲ其株主ニ手渡スルカ又ハ郵稅濟ノ書狀ヲ以テ株主ヨ
リ豫テ會社へ届出タル宿所へ宛テ之ヲ送付スヘシ
第九十六條 株主總体へ通知ヲ爲スヘキ場合ニ於テ一株若
クハ數株ノ共同所有者ナル株主ニ對シテハ株主名簿へ記入
ノ順序ニ依リ筆頭ニアル株主へ通知書ヲ送付スヘシ然ルト

キハ共同所有者一同へ對シ十分通知ノ効アルハシ
第九十七條 郵便ヲ以テ通知書ヲ送付シタルトキハ通常該
書狀ノ郵便ニ依リ配達セラルヘキ時刻ニ於テ先方ニ達シタ
ルモノト見做スヘシ而シテ通知書ノ先方へ達シタルコトヲ
証明スルニハ該通知書ヲ入レタル書狀ハ宿所姓名等ヲ正確
ニ記載シタルモノニシテ之ヲ郵便函ニ投シタリトノ事實ヲ
証明スレハ足レリトス

(有限責任會社事務取扱章程終)

左ノ表ハ右章程第八十一條ニ謂ヘル別紙ニシテ資産貸借對照表
ノ体裁及ヒ之ニ掲クヘキ項目ヲ示シタルモノナリ



以上ハ千八百六十二年英國ニ於テ發布シタル會社條例ノ別冊第一號ニ掲ケタル有限責任會社事務取扱章程及之ニ添ヘタル別表ヲ譯載シタルモノニシテ又以テ有限責任會社定款ノ振合ヲ知ルニ足ルヘキナリ以下本章第二節ニ於テハ保証有限責任會社ノ定款及第三節ニ於テハ無限責任會社ノ定款ノ文例若クハ其要領ヲ掲ケ以テ各會社定款ノ振合ヲ示スヘシ

第二節 保証有限責任會社ノ定款

英國ニ於テハ保証有限責任會社若クハ無限責任會社ヲ設立シ其登録ヲ願出ツルニ方リテハ結社約定書ニ記名シタル發起人等會社ノ事務取扱規則ヲ定メ之ヲ會社ノ定款トナシ結社約定書ニ添ヘ商務省會社設立登録局ヘ差出スヘキモノトス

若シ發起人等ニ於テ至當ト見認ムルトキハ千八百六十二年ノ會社條令別冊第一號ノ有限責任會社事務取扱章程ノ全部若クハ其一部ヲ採用シ以テ會社ノ定款トナスコトヲ得ルモノトセリ而シテ資本金ヲ株式トシテ分チタル保證有限責任會社及無限責任會社ノ場合ニ在テハ會社ノ登錄資本金額ヲ掲クルヲ要シ資本金ヲ株式トシテ分チサル保證有限責任會社及無限責任會社ノ場合ニ在テハ社員ノ總數ヲ揚クヘキモノトス又資本金ヲ株式トシテ分チタル保證有限責任會社若クハ無限責任會社ノ場合ニ於テハ各株主ハ少クトモ各自一株ヲ引受ケ結社約定書ニ於テ各自ノ名前ノ上ニ其引受クヘキ株數ヲ記載スヘキモノトス右定款ハ英國ニ於テハ必ス之ヲ印刷ニ附スルモノニシテ其効力

ハ之ニ依リ設立シタル會社及其社員ニ對シ契約ト同一ノ効力アルモノトス且該定款ハ皆ニ株主本人ニ對シ其契約ト同一ノ効力アル而已ナラス其相續人及管財人ニ於テモ其規定ニ從ヒ株主ノ義務ヲ履行スルノ義務アルモノトス又結社約定書又ハ定款ニ依リ株主ヨリ會社ヘ拂込ムヘキ金額ハ其株主ヨリ會社ヘ對スル負債ト同一視スヘキモノトス

英國ニ於テハ千八百六十二年ノ會社條例ニ依リ設立シタル會社ニ於テ若シ株主ヨリ結社約定書及定款ノ謄本ヲ會社ニ對シ要求スルトキハ會社ハ謄本一通ニ付キ一志若クハ總會ニ於テ取極メタル一志以内ノ手数料ヲ受取リタル上之ヲ株主ニ送付セサルヘカラストセリ又若シ會社ニ於テ此要求ニ應セサルトキハ會社ハ

即チ條例ニ違反シタルモノニシテ其違反ノ所爲一回毎ニ一磅以下ノ罰金ニ處セラル、モノトス今保證有限責任會社ニシテ其資本金ヲ株式トシテ分タル會社ノ定款ノ振合ヲ示サンカ爲メ本編第一章第二節ニ於テ結社約定書ノ文例トシテ掲ケタル倫敦共同海上保險會社ノ結社約定書ニ添ヘタル定款ノ要領ヲ掲クヘシ
倫敦共同海上保險會社定款

第一條 本會社ハ五百名ノ社員ヲ以テ成立スルモノトシテ登録ヲ出願スヘシ

第二條 取締役ハ本會社ノ營業上必要ト認ムルトキハ社員ノ數ヲ増加シ其増加ノ登録ヲ出願スルコトヲ得

第三條 船舶又ハ船舶一部ノ所有者ニシテ此定款ノ規定ニ從

ヒ其船舶ノ保險ヲ本會社ニ申込ミタルモノハ之ヲ本會社ノ社員ト見做スヘシ

以下條ヲ追フテ左ノ事項ヲ規定シ定款ノ終リニ於テ發起人一同記名シ且其宿所等ヲ記載セリ

總會議事ノ方法

社員議決權ノ事

取締役ノ事

取締役權限ノ事

取締役撰舉ノ事

會社營業方法ノ事

會社ノ會計ノ事

(第二編會社ノ創立)

通知ノ事

會社解散ノ事

右ハ保証有限責任會社ニシテ其資本金ヲ株式トシテ分タサル會社ノ定款ニ於テ規定スヘキ事項ノ要領ナリトス以下資本金ヲ株式トシテ分タタル保証有限責任會社定款ノ文例ヲ示スヘシ

第一條 本會社ノ資本ハ五十万磅トシ之ヲ五千株ニ分チ一株百磅トス

第二條 取締役ハ總會ノ決議ヲ經テ株式ノ金額ヲ減少スルコトヲ得

第三條 取締役ハ本會社ニ於テ買入レタル本會社ノ株式ヲ總會ノ決議ヲ經テ消却スルコトヲ得

第四條 千八百六十二年會社條例別冊第一号ニ於テ掲ケタル有限責任會社事務取扱章程ノ各條ハ悉ク之ヲ本會社ニ適用スヘシ

左ニ宿所姓名ヲ記載シタル者ハ各自ノ名前ノ上ニ記載セル株數ヲ引受クヘキコトヲ約諾スルモノナリ

發起人等ニ於テ引受ケタル株數	發起人等ノ住所姓名
何株	何地何町何番地 何之誰
同	同
同	同
合計何株	

(第二編會社ノ創立)

第三節 無限責任會社ノ定款

左ニ無限責任會社定款ノ文例ヲ示スヘシ

何々會社ノ定款

本會社ノ資本金ハ二千磅トシ之ヲ二十株ニ分チ一株一百磅トス

千八百六十二年會社條令別冊第一號ニ掲ケタル有限責任會社事務取扱章程ノ各條ハ悉ク之ヲ本會社ニ適用スヘシ

左ニ宿所姓名ヲ記載シタル者ハ云々(以下前文ノ末項ニ同シ)

第三章

會社設立登録出願ノ事

英國ニ於テハ會社設立登録主務官全副官及屬官若干名ヲ商務省ニ於テ任命シ以テ會社設立登録ノ事務ヲ司ラシム而シテ右官吏

ノ職務及登録局ヲ置クヘキ地等ハ一ニ商務省ノ指定スル所ニ依レリ

千八百六十二年ノ會社條例ニ依レハ何人ニテモ商務省ニ於テ定ムヘキ一志以内ノ閲覧料ヲ登録局ヘ収ムルトキハ登録局備付ノ登録簿ヲ閲覧スルコトヲ得而シテ又商務省ニ於テ定ムヘキ五志以内ノ手数料ヲ収ムルトキハ會社設立登録証ノ下附ヲ求ムルコトヲ得又其他會社ニ關スル書類ノ寫一通ニ付六片以内ノ手数料ヲ収ムルトキハ其寫ノ正確ナルコトヲ保證スル爲メ登録局ノ奥印ヲ要求スルコトヲ得ルモノトセリ而シテ會社ヲ設立セント欲スルモノハ結社約定書及ヒ定款ヲ登録局ニ差出シ會社條例別冊ヲ以テ規定シタル手数料ヲ収メ以テ其會社ノ設立アリタル旨ヲ

登録簿ニ記入セラレシコトヲ要求スルコトヲ得

第一節 設立登録ノ効果

登録主務官ハ結社約定書ヲ登録シ且條例ニ於テ定款ノ登録ヲ要スル場合及之ヲ要セサルモ結社人ニ於テ定款ノ登録ヲ出願シタル時ハ之ヲモ登録シ而シテ後登録証ヲ下付シ之ニ依リ其設立アリタルコトヲ公証スヘシ若シ有限責任會社ナルトキハ其有限ナルコトヲモ公証スヘキモノトス

既ニ登録ノ手續ヲ了リタル以上ハ結社約定書ニ記名シタル者及將來該會社ノ社員若クハ株主トナルモノハ結社約定書ニ掲ケタル社名ヲ以テ一ノ會社ヲ組織スルモノニシテ該會社ハ法律上一個人ト均シク契約賣買等ヲ爲シ其社員株主ハ假令幾度交代スル

モ會社其モノハ更ニ異動ナク繼續スルノ特性ヲ獲得スルモノナリ
抑モ登録主務官ヨリ下附シタル登録証ハ法律上確定証據ノ効力アルモノニシテ凡ソ會社ニシテ其設立ノ登録証ヲ有スル以上ハ法律ハ看テ以テ該會社ハ適法ノ手續ニ依リ設立シ正當ニ登録セラレタルモノナリト推測ス而シテ其推測タル決シテ反證ヲ舉ケテ以テ其當否ヲ論ス可ラサルモノトス故ニ會社ノ設立登録後ニ至リ其設立ノ方法又ハ登録ノ手續ニ於テ瑕瑾アルコトヲ發見スルモ裁判所ハ之カ證明ヲ許サ、ルナリ夫レ斯ノ如ク登録ノ手續上瑕瑾アリテ會社ハ正當ニ設立シタルモノニ非サルニモ拘ハラズ之カ證明ヲ許サ、ルハ道理上稍ヤ其正ヲ得タルモノニアラサ

ルカ如シト雖モ既ニ會社ニシテ登録セラレタル以上ハ世人ハ其存立ヲ認メ之ト契約ヲ結ヒ其他營業上萬般ノ取引ヲ爲スモノナレハ若シ其登録後ニ至リ其登録ノ當否ヲ爭フコトヲ許シタランニハ會社ト取引ヲ爲スモノハ爲メニ莫大ノ損害ヲ蒙リ從テ世人會社ヲ以テ危險ナリトシ之ト取引ヲ爲スモノナキニ至ルヘシ故ニ英國ニ於テ現ニ判決アリタル一ノ訴訟ニ於テハ事實審問ノ末會社設立ノ際結社約定書ニ記名シタル七名ノ發起人中一名ハ當時幼者ナリシコトヲ發見シタリト雖モ已ニ會社設立登録後ニ至リテハ其設立登録ノ當否ヲ爭フヘカラスト決定セラレタリ又以テ至當ノ判決ト謂フヘシ

〔註〕英國ニ於テハ滿二十一歳以下ノ者ハ法律上契約ヲ結フノ能

カナキモノナルカ故ニ發起人中ニ二十一歳未滿ノ者アリタルハ即チ會社設立ノ方法ニ瑕瑾アルモノナリト雖モ既ニ會社設立登録後ナルヲ以テ前述ノ理由ニ依リ會社ノ設立ヲ無効ト爲スヲ得スト判決シタルナリ

會社設立ノ登録アリタル以上ハ其登録資本總額ノ株式ニ對シ未ダ申込人アラサルモ會社ハ營業ヲ開始スルコトヲ得ルモノナリ故ニ未ダ資金總額ニ對シ申込人アラサル内會社ニ於テ現在ノ株主ニ對シ株金ノ拂込ヲ要求スルモ株主ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得ス然レトモ會社ニ於テ既ニ徵收シタル資本金ニシテ未タ其營業上必要ノ額ニ達セサルトキハ其營業ヲ始ムルコトヲ得サルモノトス故ニニューソーランド地所會社ニ係ル訴訟ニ於テハ會社ノ總

株數ヲ二万五千株トシ差當リ先ツ一万二千五百株ヲ募集スルコトニ決シタリ然ルニ九百株ニ對スル申込ノ外得ル能ハサリシヲ以テ其株主中二百株ニ對スル申込ヲ爲シタル者其拂込金ノ返還ヲ要求シ且株主名簿ヨリ除名セラレンコトヲ要求シタルニ裁判所ハ該要求ヲ以テ至當ナリト判決セリ

右ノ訴訟ニ於ケルカ如キ事實アル場合ヲ除クノ外ハ既ニ資本金ノ一部ニ對シ申込人アル以上ハ會社ハ營業ヲ始ムルコトヲ得ルモノトス然レトモ若シ會社ノ定款ニ於テ總資本金ノ何分ニ對スル申込アル迄ハ開業スヘカラスト規定シタルトキハ會社ハ仮令既ニ設立ノ登録ヲ經タルニモセヨ其必要ノ申込アラサル以上ハ營業ニ着手スルコトヲ得サルナリ

第二節 登録社名ノ事

新ニ設立セントスル會社ハ既ニ登録セラレタル會社ト同一若クハ之ニ類似シタル名稱ヲ附シ以テ世人ヲシテ同一ノ會社ナリト思惟セシムルカ如キ所爲アルヘカラスト然レトモ若シ既ニ登録ヲ經テ設立セル會社將ニ解散セントシ其承諾アルコトヲ證明スルコトヲ得ルトキハ之ト同一若クハ相類似セル名稱ヲ以テ登録ヲ願出ツルモ登録局ハ之ヲ登録スヘシ然レトモ此承諾ナクシテ不注意等ニ依リ若シ既ニ登録セラレタル會社ト同一若クハ相類似セル名稱ヲ以テ登録ヲ經タルトキハ後ニ設立シタル會社ハ登録主務官ノ認可ヲ經テ其名稱ヲ變更スルヲ得斯クノ如クシテ其名稱ヲ改正シタルトキハ登録主務官ハ其趣ヲ登録簿ニ記入シ登

錄證書ノ書換ヲ爲スヘシ然レトモ此名稱ノ變更ハ會社ノ權利義務及其訴訟上何等ノ影響ヲモ及ホサ、ル者トス若シ新ニ設立シタル會社ニ於テ先キニ登錄ヲ經タル會社ト同一又ハ相類似セル名稱ヲ以テ登錄ヲ受ケタル場合ニ於テ之カ爲メ先キニ設立シタル會社ノ營業上ニ影響ヲ及ホサントスルノ實アルハ先ニ設立シタル會社ハ裁判所ニ乞フテ禁令ヲ發シ以テ新設會社ノ該名稱ヲ使用スルヲ禁止スルコトヲ得

第三編 會社營業ノ事

既ニ第一篇及第二篇ニ於テ述ヘタル如ク凡ソ法律カ會社ニ許スニ一個人トシテ權利ヲ有シ義務ヲ負フノ特有ナル性質ヲ以テスル所以ノモノハ偏ニ會社ヲシテ其設立シタル目的ヲ達セシムルカ爲メナリ故ニ其目的以外ノ事柄ニ付テハ決シテ一個人トシテ取引ヲ爲スノ權アルモノニアラス而シテ其設立ノ目的果シテ如何ナルヤハ其設立ニ係ル書類ニ照シテ之ヲ決セサルヘカラサルナリ然リト雖モ會社ノ權限ハ單ニ其設立ニ關スル書類ニ明文ヲ以テ斯々ノ事柄ハ爲スヲ得ヘシト規定シタルモノニ止マラス既ニ其設立ヲ許シタル以上ハ斯々ノ權利ハ暗黙ノ間ニ許容シタルモノナリト見做サ、ルヘカラサルモノアリ例ヘハ商業會社ナレ

ハ仮令明文ヲ以テ許サ、ルモ爲換手形及ヒ約束手形等ヲ發スルノ權アルハ勿論ニシテ苟クモ一會社ニシテ其目的ヲ達スルニ必要欠クヘカラサル事柄ハ總テ許容セラレタルモノト認ムヘシ然レトモ實際ニ於テハ會社カ或取引ヲ爲シタル場合ニ於テ其果シテ會社ノ權限外ニ涉リタル取引ナルヤ將タ或ハ其暗黙ニ許容セラレタル取引ナルヤヲ決定スルハ實ニ容易ノコトニアラサルナリ

是レヨリ本篇各章ニ於テ凡ソ會社ノ營業上ニ關スル權限及其他ノ事項ヲ説明セントス

第一章 會社ノ從事シ得ヘキ營業ヲ論ス

第一節 會社設立ニ關スル書類ニヨリ明文ヲ以テ許容

セラレタルカ或ハ暗ニ許容セラレタル事業凡ソ會社ハ其設立ヲ許サレタル條例又ハ其定款ノ明文ニヨリ從事スルコトヲ許サレタル事業ヲ營ムヘキハ勿論ノコトニシテ更ニ疑ヲ容ルヘカラスト雖モ只其設立ニ關スル書類ノ解釋上會社ノ營ムヘキ事業ノ範圍ノ廣狹ヲ決スルハ頗ル困難ナルコトアリ是本節ニ於テ研究スヘキ要點ナリトス而シテ會社ノ從事スヘキ事業ノ範圍如何ハ當ニ其設立條例ノミ是據ルヘキモノニアラス宜シク本件ニ關スル實際ノ訴訟ニ付裁判所カ下シタル判決ヲ參考セサルヘカラス即チ設立條例ヲ以テ何々ノ事業ニ從事スルコトヲ得ルト規定シタル場合ニ於テ裁判所ハ古來如何ナル範圍ヲ付シタルヤヲ考察セサルヘカラス例ヘハ廣ク一般ノ請負事業ニ

從事スルコトヲ許サレタル會社ニシテ外國ニ於テ鐵道ヲ布設スルノ許可ヲ受クヘキコトヲ請負フタル場合ニ於テ其ハ會社ノ爲スヘキ事業ノ範圍内ニアラスト判決セラレタル實例ノ如キハ即チ是設立條例ノ明文ニハ請負事業ヲ爲スヲ得ルトアルモ裁判所カ之ヲ解釋スルニ當リ其主意ヲ短縮シタル一例ナリトス又或ル地方ニ於テ營業スルコトヲ許サレタル會社ハ其許サレタルヨリ以外ノ地方ニ於テ事業ヲ起スコトヲ得サルナリ例ヘハ甲地ト乙地トノ間ニ鐵道ヲ布設シ乗客荷物ノ運搬ニ從事スルコトヲ許サレタル會社ハ他ノ地方ニ出テ、其事業ニ從事スルコトヲ得サルナリ夫レ如此會社ノ從事シ得ヘキ事業ハ其設立ヲ許シタル書類ノ明文ヨリ却テ短縮セラル、コトナキニアラスト雖モ或ハ亦其

書類ノ明文ヨリ推考スルトキハ暗ニ許容セラレタルニ相違ナシト見ルヘキ場合ニ於テハ仮令明文ナシト雖モ之ヲ行フコトヲ得ルモノトス例ヘハ石炭ヲ採掘シ之ヲ運搬スル爲メ設立シタル會社ニシテ其目的ヲ達スル爲メ必要ナル物品器具等ヲ購求スルノ權アル以上ハ其運搬ノ用ニ供スル爲メ蒸氣船ヲ買入ル、コトヲ得ヘシト判決セラレタルコトアリ又會社ハ可成充分ニ其權限ヲ廣ク利用スルコトヲ得ルモノニシテ例ヘハ鐵道布設ヲ許サレタル會社ハ當然汽車ヲ運轉スルノ權アルカ故ニ仮令其汽車ノ通行ニ依リ道路往來ノ自由ヲ何分カ妨グルコトアルモ會社ハ遠慮ナク其汽車ヲ走ラシムルノ權利ヲ有スルモノトス之ヲ要スルニ會社ハ其本目的タル事業ヲ營ムニ當テハ其營業上必要ナル一切ノ事

ヲ爲シ得ヘキモノトス何トナレハ若シ其必要ナル事ヲ爲シ得ヘカラストスルトキハ充分ニ其目的ヲ達スルコト能ハサレハナリ依テ鐵道會社ハ當然其營業ノ爲メ乗客休息所或ハ停車場或ハ荷物置場ヲ建設スルノ權アリト爲スカ如キハ即チ其營業上必要ノ事柄ナレハナリ

第二節 一會社ニ於テ他ノ會社ノ事業若クハ財産ヲ引

受クルコト

凡ソ商業會社ハ其設立ニ際シテ既ニ他人ノ營ミ居ル事業ヲ其儘買入ル、コトヲ得ルモノトス若シ會社カ其設立ノ上ハ他ノ會社又ハ他人ノ事業ヲ其儘買入ル、ノ目的ヲ以テ設立シタルトキハ豫メ定款又ハ設立條例ニ於テ之ヲ買入ル、コトヲ得ヘシト規定

シタル明文アルヲ要スト判決セラレタル實例ナキニアラスト雖モ一般ヨリ之ヲ見レハ假令明文ヲ以テ特ニ許シタルニアラサルモ會社ハ他人ノ既ニ營ミ居ル事業ヲ買入レ以テ新ニ事業ヲ起スノ勞ヲ省クコトヲ得ルモノトス然レモ或ル指定セラレタル地方ニ於テ或事業ニ従事スルコトヲ許サレタル會社ハ假令他ノ地方ニ於テ既ニ同一ノ事業ニ従事シ居ル他ノ會社アルモ其事業ヲ買受クルコトヲ得サルナリ又一會社ヲ新ニ設立シタル場合ニ於テ曩ニ設立セラレタル他ノ會社ノ營業上ノ得意及同會社ノ權利負債等ヲ一切買受ケントスル時ハ之ヲ買受ケントスル會社モ之ヲ讓渡ス所ノ會社モ共ニ其設立書類ヲ以テ其買入讓渡ヲ爲シ得ルコトヲ許サレタルヲ要ス而シテ若シ設立書類ノ明文ニヨリ此權

利アルトキハ之ヲ行ヒ得ヘシト雖凡一會社ノ利益損失及債主權、負債等悉ク他ノ會社ニ於テ引取ルカ如キハ尤モ重大ナル結果ヲ生スヘキ事柄ナルヲ以テ容易ニ此權利アリト速斷スヘカラス例ヘハボルド對ボルヅ、パテント、デチドライジング會社ノ訴訟ニ於テ假令會社ハ其所有ニ屬スル土地、家屋、契約、土工等一切ヲ賣却スルコトヲ設立書類ニ因リ許サレタル場合ト雖凡若シ社員ノ内一人ニテモ其賣却ニ不同意ヲ唱フルモノアルニ於テハ其事業及其財產一切ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得スト判決セラレタルコトアリ右訴訟ノ事實ハ被告會社ノ取締役ニ於テ甲者ニ會社ノ事業及其財產一切ヲ賣渡スコトヲ約セリ而シテ其約定書ニハ「取締役ニ於テ直ニ株主ノ臨時總會ヲ開キ其賣買ノ認可ヲ受クヘシ若シ總會

ニ於テ之ヲ可決シタル時ハ甲ヨリ現金ニテ二百五十磅ヲ會社ヘ拂渡スヘシ若シ甲ニ於テ同會社ノ事業ヲ再興シタル上ハ甲ハ更ニ千二百五十磅ノ金額及甲ノ再興スヘキ會社ヨリ發行スル所ノ拂込濟ノ株券ニテ二千磅ヲ渡スヘシトアリタリ此場合ニ於テ取締役カ召集シタル株主總會ニ於テ株主ノ多數決ニ依リ其賣買ヲ認可シタルヲ以テ甲ハ現金二百五十磅ヲ拂渡シタレトモ裁判所ハ其賣買ハ會社ニ於テ多數決ニ依リ認可シ得ヘキモノニアラスト判決セリ

其他會社ノ營業ニ使用シタル一切ノ物件及契約上ノ權利義務ヲ他ノ會社ニ於テ讓受クルコトニ關シテハ英國ノ一千八百六十二年ノ會社條例ハ第六十一條ヲ以テ「若シ會社ニ於テ株主ノ決議

ヲ以テ解散スヘシト決シタル時及ヒ解散ニ着手シタル時ハ其會社ノ事業ヲ悉ク他ノ會社ニ讓渡スコトヲ得ヘシト規定セリ

第三節 一時不用ニ屬スル財産處分方ノ事

若シ會社ノ財産ニシテ一時不用ニ屬スルモノアルトキハ其會社設立ノ目的ニ違背セサル以上ハ會社ハ適宜之ヲ有益ナル方法ニ使用スルコトヲ得ルモノトス

凡ソ會社ハ其營業上ノ都合ニ因リ種々ノ物品材料ヲ多量ニ買入ル、コトアリ又或ハ其事業ヲ益々擴張スルノ目的ヲ以テ買入レ置キタル物品材料モ後日ニ至リ之ヲ要セサルコトアリ斯ノ如キ場合ニ於テハ其不用ニ屬スルモノヲ如何ナル方法ニ使用スルモ苟モ其使用ノ方法ニシテ會社設立ノ目的ニ違背セサル以上ハ

會社ハ之ヲ勝手ニ利用シ殖利ヲ圖ルコトヲ得ルモノトス例ヘハ
 プラヴォン對ウインニシメット會社ノ訴訟ニ於テ判事ヒゲロ一氏曰ク「本件ノ被告タル渡船會社ハ其買入ルヘキ蒸氣船ノ數ニ制限アルモノニアラス只タ其許可ヲ得タルヨリ多額ノ資本ヲ會社ノ事業ニ投スルコトヲ得サルノ制限アルノミ而テ其會社カ渡船トシテ使用スル爲メ買入レタル蒸氣船ニシテ不用ニ屬スルモノアル時ハ敢テ之ヲ渡船ノ用ニ供セサルモ之ヲ引船又ハ廣ク乗容及荷物運搬船トシテ用ユルコトヲ得ヘキナリ唯被告會社ハ其設立ノ本目的タル事業ニ關係ナキコトニ之ヲ使用スルヲ得サルノミ」ト右ニ述フルカ如ク會社ハ一時不用ニ屬シタル財産ヲ有益ナル方法ニ用ユルコトヲ得ルモノニシテ其營業上差支ナキ限リハ一時

之ヲ他人ニ貸渡シ又ハ之ヲ賣却スルコトヲ得ルモノトス例ヘハ
 シンブソン對ウエストミンスター、パレス、ホテル會社ノ訴訟ニ
 於テ被告ハ旅宿營業ニ從事スル爲メ一大旅館ヲ建設シ及其營業
 ニ必要ナル一切ノ事ヲ爲スノ權ヲ有シタル會社ナリシニ其營業
 上使用スル爲メ建築シタル宏大ナル旅館ノ一部分ハ不用ニ屬シ
 タルヲ以テ之ヲ他人ニ貸渡シタル場合ニ於テ裁判所ハ其之ヲ貸
 渡シタルハ該會社ノ權限内ナリト判決セリ

第四節 會社カ其事業ノ一部分ヲ廢止スル事

或ル事業ニ從事スル爲メ設立セラレタル會社ニシテ其事業ノ一
 部分ハ大ニ利益アルモ他ノ一部分ハ却テ會社ノ損失ヲ來タスカ
 如キコトアル場合ニ於テ若シ其事業ノ内損益相償ハサル部分ト

其有益ナル部分ト各判然區別シ得ヘキ時ハ會社ハ其損益相償ハ
 サル部分ヲ棄テ、其利益アル部分ノミニ從事スルコトヲ得ヘシ
 即チ若シ一會社ニシテ二個以上ノ事ニ從事スル爲メ設立セラレ
 タル場合ニ於テ仮令ヒ其内ノ一事業ヲ廢棄スルモ會社設立ノ目
 的ニ背反スルコトナクンハ其之ヲ廢スルモ敢テ妨ケナキナリ例
 ヘハノルウエヂアン、タイタニック製鐵會社ノ訴訟ニ於テ該會社ハ英
 國ニ於テ或ル炭坑ヲ買入レ又諾威國ニ於テ鐵山ヲ買入レ以テ諾
 威國ニ於テ探掘シタル鐵鑛ヲ英國ニ運送シ英國ニ於テ之ヲ精鍊
 スルノ計畫ナリシニ數年營業ノ後ニ至リ英國ノ炭坑ヲ賣拂ヒ諾
 威國ノ鐵山ノミヲ所持スルノ利益ナルヲ發見シタリ茲ニ於テ
 乎同會社ハ總會ノ議決ヲ以テ直チニ之ヲ賣却シタルニ依リ株主

一人ハ會社ノ所爲ヲ以テ營業ノ目的ニ違背シタルモノトシ該會社ノ解散ヲ命セラレンコトヲ裁判所ニ請求シタルモ裁判所ハ其訴ヲ棄却シテ曰ク「會社ハ其不利益ナル炭坑ヲ賣拂フモ其設立ノ目的ニ反スル者ニアラス」ト夫レ如此會社カ二個以上ノ事業ニ從事スル場合ニ於テハ其不利益ナル事業ヲ廢止シ專ラ一事業ニ從事スルヲ得ルト雖モ若シ二個ノ事業互ニ相連關シ之ヲ區別スルコト能ハサル場合ニ於テハ會社ハ仮令ヒ其事業ノ一分部利益ナクシテ反テ損失アルモ之ヲ廢止スルコトヲ得サルモノトス例ヘハコーヘン對ウイルキンソンノ訴訟ニ於テ甲地ヨリ乙地ニ達スル鐵道ヲ開設スル爲メ設立シタル會社其鐵道ヲ甲地ヨリ乙地ニ布設セスシテ單ニ其中間ナル丙地マテ敷設シ全ク其線路ヲ

完結セサルニ因リ株主ノ一名異議ヲ唱ヘ訴ヲ起シタリシニ裁判所ハ會社ハ乙地迄鐵道ヲ布設セサルヘカラスト判決セリ又バグシヨウ對イーステルン、ユニオン鐵道會社ノ訴訟ニ於テハ被告會社ハ其本線ノ外他ノ地方ヘ支線ヲ開設スルノ權ヲ有シ現ニ該支線敷設ノ費用ニ充ツル爲メ資本金ヲ募集シ置キナカラ之ヲ支線ニ費サスシテ本線ノ費用ニ充テントシタル時支線開設資本金中ノ若干株ヲ引受クヘシト約シタル株主ヨリ故障ヲ云ヒ立テ訴訟ヲ起シタリシニ裁判所ハ支線ノ爲メ募集シタル資本金ハ之ヲ本線ニ費ヤスコトヲ得スト判決セリ

第五節 會社ニ於テ株式ノ取引ヲ爲ス事

凡ソ會社ハ他ノ會社ノ株主タルコトヲ得ルモノナルヤ否ヤハ近

年ニ至ル迄議論一決セス實ニ會社カ他ノ會社ノ株主タルヲ得ルモノニアラストノ説反テ勢力ヲ有シタリシカ漸ク此說一變シテ遂ニ會社ハ仮令其設立ニ係ル書類ヲ以テ他ノ會社ノ株式ヲ有スルコトヲ明許セサルモ暗黙ニ之ヲ許サル、コトアリトノ説行ハル、ニ至リタリ然レトモ一會社ニシテ其設立條例若クハ定款ノ趣旨ニ照ラシテ考察スルニ他ノ會社ノ株式ヲ所有スル權アルモノニアラスト認ムヘキ場合ナシトセス例ヘハジョイント、ストク會社對ブラウンノ訴訟ニ於テハ會社ハ確實ナル抵當ニヨリ金圓ヲ貸シ出シ利子ヲ得ルヲ目的トシタルモノナリシニ他ノ會社ノ株式一株十磅ノモノヲ三千磅引受ケタリ然ルニ該會社カ此ノ如クシテ株式ノ所有主トナリタルノ所爲ハ抵當ニ因リ金錢ヲ貸

附ケタルモノト認ムルコトヲ得サルハ勿論ナルヲ以テ其所爲ハ會社ノ權限外ナリト判決セラレタリ夫レ如此會社ニシテ他ノ會社ノ株式ヲ有スルコトヲ得サル場合ナキニアラスト雖モ要スルニ英國ニ於テハ會社ノ定款若クハ結社約定書ヲ以テ暗ニ許サレタルモノナリト推測スヘキ場合ニ於テハ他ノ會社ノ株式ヲ有スルノ權アルモノトス之ニ反シテ亞米利加合衆國ニ於テハ法律ヲ以テ特ニ許サレタルニアラサレハ會社ハ他ノ會社ノ株式ヲ有スルコトヲ得ルモノニ非スト爲セリ

又會社ハ其發行ニ係ル株券ヲ買入ル、コトヲ得ルヤ否ヤノ點ニ至リテモ英國ノ法律ト合衆國ノ法律トハ其趣ヲ異ニシ英國法ハ會社ヲ以テ自己ノ株式ヲ買入ル、コトヲ得ルモノニアラストセ

リ故ニツレタノ要求事件ト稱呼セラル、訴訟ニ於テハ或ル銀行ノ結社約定書ヲ以テ其銀行ノ取引ヲ爲シ得ヘキ事件ノ項目ヲ詳ニ掲載シ右等ノ事件ニ付キ賣買ヲ爲シ又ハ抵當物ヲ取り金圓ヲ貸附ルコトヲ得ト記載シアリタレモ其項目中ニハ該銀行ノ株式ヲ買入レ若クハ抵當トシテ預ルコトヲ許シタル條項アラサシリテ以テ裁判所ハ判決ヲ下シテ曰ク該會社カ自己ノ株式ヲ買入レタルハ其爲シ得ヘキ權限内ノ取引ニアラスシテ其到底行ヒ得ヘカラサルコトナルヲ以テ佞令總會ニ於テ株主一同悉ク一致ヲ表シ一名ノ異議者モナク此取引ヲ可決スルモ決シテ有効タル能ハサルモノナリト

右ハ英國ノ規定ナレトモ合衆國ノ法律ハ其主義ヲ異ニシ銀行其

他金錢ノ取引ヲ目的トスル會社ニ在リテハ必ラス自己ノ株式ニ付キ取引ヲ爲スノ權アルモノトシ亦廣シ一般ノ會社ト雖モ其設立書類ニ於テ特ニ反對ノ規定ヲ設ケサル以上ハ會社ハ其發行シタル株券ノ取引ヲ爲スノ權利アルモノト推測セリ故ニ會社ニ此權利ナシト主張スルモノハ其會社ノ設立ニ關スル書類ニ於テ之ヲ禁シタルカ又ハ其書類ニシテ明言シテ以テ禁セサルモ其定款及結社約定書等ノ大體ノ趣旨ヨリ推シテ會社ニ此權利ナシト認定シ得ヘキコトヲ証明セサルヘカラス又合衆國ニ於テハ會社カ他人ニ貸渡シタル負債ノ代償トシテ其負債主ノ所有ニ係ル該會社ノ株式ヲ引取り若クハ其負債ノ保証トシテ之ヲ預リ置クコトヲ得ル者ニノ又此ノ如キ取引ニ因リ會社ノ手ニ歸シタル株式ハ

會社ニ於テ再ヒ之ヲ發行スルコトヲ得ルモノト爲セリ

第二章 會社ノ事業擴張ノ事

第一節 會社ハ其本目的タル營業ノ範圍内ニ屬セサル
事業ニ從事スルコトヲ得ス

凡ソ會社ハ其設立書類ニ依リ明許セラレタルカ又ハ暗黙ニ許可
セラレタルコトノ外他ノ事業ニ從事スルコトヲ得ス若シ之ニ違
背シテ其從事スヘカヲサル事業ニ着手セントスルトキハ裁判所
ニ乞フテ禁令ヲ發シ之ヲ禁スルコトヲ得故ニ或鐵道會社ニ於テ
將ニ石炭ノ賣買ニ係ル事業ヲ爲サントシタルニ依リ訴ヲ起シタ
ル者アリタル時其訴訟ニ於テ判事キンデルスレー氏曰ク本訴ノ
鐵道會社ノ設立ヲ許シタル條例ヲ案スルニ該條例ハ本會社ニ許

スニ鐵道ヲ敷設シ及鐵道事業經營ニ必要ナル萬般ノ事ヲ爲スノ
權ヲ以テシ故ラニ明文ヲ掲ケテ以テ該事業ニ關係ナキコトヲ行
フヲ得スト規定シタルモノニ非スト雖モ此ノ如キ條例ハ必ス會
社ニ於テ其營業ニ關係ナキコトヲ爲スヲ暗ニ禁止シタルモノト
看、做、サ、ハ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、ト、又、合、衆、國、ニ、於、テ、モ、之、ト、同、一、ノ、主、義、ニ、ヨ、リ
判決セラレタル訴訟勘ナカラス例ヘハコンチクチカット州ノ高等
裁判所ニ於テ判決シタルメカニツクス云々ピルヂング、アソシエ
ーション對メリデン、エーゼンシー會社ノ訴訟ニ於テ被告會社ハ
廣ク保險事業ニ從事シ且諸般ノ仲買營業ヲ爲シ又其事業ニ屬ス
ル百般ノ事ヲ爲スコトヲ得ルモノナリシニ該會社カ貯金銀行及
建築會社ノ株主ト爲ラントシタリシ時其ハ會社ノ權限外ナリト

判決セラレタリ又ニニュー、ハンフシヤイヤー州ニ於テ判決セラレタルダウニング對ワシントン山道路會社ノ訴訟ニ於テハ被告會社ハ其最初設立ヲ許サレタル條例ニ依レハ道路ヲ開設シ且ツ之ヲ維持スル爲メ必要ノ修繕ヲ爲シ以テ通行人及ヒ通行ノ車馬ニ對シ通行料ヲ要求スルノ權ヲ有シ又其通行料取立ノ爲メ必要ノ家屋ヲ建設スルノ權ヲ有シ且ツ道路敷地ニ充ツル爲メ土地買取りノ權ヲ有シタリシニ其後更ニ條例ヲ發シテ該會社ノ權限ヲ一層擴張シ通行ノ車馬及旅人ノ便益ヲ圖リ必要ノ家屋ヲ建設シ若クハ買入ル、ノ權ヲ附與シタリ然ルニ同會社ハ貨物及旅客運搬ノ用ニ充ツル爲メ車馬ヲ買入レタリシニ判事ベル氏判決ヲ下シテ曰ク本訴ノ場合ニ於テ第二回ノ條例ハ被告會社ノ營業範圍

ヲ大ニ擴張シタルモノニシテ通行料取立人及其他會社ニ於テ使役スル所ノ人夫ノ用ニ供スル爲メ家屋ヲ建設シ又ハ之ヲ買入ル、コトヲ許シタリト雖モ道路會社ニシテ旅客及貨物運搬事業ニ從事スルカ如キハ決シテ該條例ノ許シタル限ニ在ラサルナリト右等ノ例ニ於ケルカ如ク凡ソ會社ニシテ將ニ其權限外ノ事業ニ着手セントシタル時ハ裁判所ハ之ヲ禁止スルコトヲ得ルノミナラス若シ會社ニ於テ其營業外ニ渉ル事項ニ付他人ト契約ヲ結ビタルトキハ其契約上ノ義務者ハ其履行ヲ拒絶スルコトヲ得ルモノニシテ假令會社ニ於テ其契約上ノ義務ヲ履行スルモ該契約ハ無効ニ屬スルモノナリ右ノ規則ヲ明ラカニ示シタル訴訟ハ英國ニ於テ差起リタルリッシュユ對アシペリー鐵道用車輛製造會社ノ訴

訟ナリトス該訴訟ニ於テハ被告ハ千八百六十二年ノ會社條例ニ依リ設立シタル有限責任會社ニシテ其結社約定書ニ依レハ該會社ハ鐵道ノ列車ニ用ユル客車及荷車等ヲ製造シ之ヲ販賣若クハ貸渡シ其他鐵道ニ使用スル器械類ヲ製造及販賣シ且ツ廣ク器械製造ノ請負ヲ爲シ又材木石炭金屬等ヲ賣買シ若クハ仲買スルヲ以テ目的トセリ而シテ其定款第四條ヲ以テ會社ニ於テ其事業ヲ擴張シ結社約定書ニ掲載シタル事業外ノ事ヲ爲スニ當リテハ特ニ總會ノ決議アルヲ要スト規定セリ然ルニ千八百六十五年一月被告會社ノ取締役カ會社ノ代理人トシテ本訴ノ原告ト結ヒタル契約ニ因リ被告會社ハ白耳義國ノ政府ニ於テ下附シタル鐵道布設ノ特權ヲ讓受ケ且ツ被告ハ原告ニ約シテ曰ク白耳義國ニ於テ

一ノ株式會社ヲ設立シ其會社ニ於テ鐵道ヲ敷設スルコト、シ同敷設事業ヲ原告ニ請負ハシメ原告ニ於テ要スル所ノ費用ハ其株式會社ヨリ滯リナク原告ヘ任拂ヒ得ヘキ爲メ被告會社ハ右株式會社ヘ若干ノ金ヲ拂込ムヘシト然ルニ千六百六十八年五月ニ至リ會社ハ其締結シタル契約ヲ以テ其權限外ナルニヨリ無効ナリト主張シタリ依テ原告ヨリ被告ニ對シ破約ノ廉ヲ以テ損害賠償ヲ要求シ訴訟ヲ起シ遂ニ國會貴族院ノ裁判所ニ上告スルニ至レリ然ルニ貴族院ハ此事件ニ對シ判決ヲ下シテ曰ク最初會社ノ取締役ノ取結ヒタル契約ハ啻ニ取締役ノ權限外ニ涉ルノミナラス會社ノ爲シ得ヘカラサルコトヲ取締役ニ於テ約シタルモノニシテ仮令契約締結後ニ至リ株主總會ニ於テ其契約ヲ追認スルモ之

ニ因リ該契約ヲシテ有効タラシムル能ハサルナリ」ト
 凡ソ會社カ其權限外ノ契約ヲ締結セントスルニ當リテハ其之ヲ
 締結スル以前ニ於テ禁令ヲ發シテ之ヲ差止ムルコトヲ得ルハ勿
 論設令之ヲ締結シタル後ト雖モ會社ハ其契約ヲ履行スルノ義務
 ナク又會社ニ於テ其權限外ノ契約ヲ取結ヒタルニ因リ之ニ對シ
 他人ニ於テ契約ヲ取結フモ該契約ハ有効ナル能ハス又此權限外
 ナル契約ノ保証トシテ差入レタル抵當ノ如キモ悉ク無効ニ屬ス
 ル者ナリハルフ^オ對^エル^テストノ訴訟ニ於テハ甲保險會社ト
 乙保險會社ト協議ノ上甲會社ニ於テ乙會社ノ事業ヲ悉皆引受ク
 ルコト、シ右兩會社ヲ合併スルノ計畫アルニ際シ會々乙會社ニ
 對シ金圓ノ仕拂ヲ要求スル者アリテ其要求タル固ヨリ至當ナル

ニ因リ仕拂フヘキ筈ナルニ甲會社ノ取締役ハ乙會社ノ爲メニ之
 ヲ拂ヒ渡サン^コヲ欲シ甲會社ノ名義ヲ以テ手形ヲ振出シ要求金
 額ノ仕拂ヒトシテ其手形ヲ要求人ニ渡シタリ然ルニ右甲乙兩會
 社ノ合併ヲ圖リ二社ノ間ニ取結ヒタル契約ハ兩會社ノ權限外ニ
 涉リ無効ナリシカハ曩ニ甲會社ノ取締役カ振出シタル手形ハ此
 法律上無効ナル兩社合併ノ契約ヲ以テ有効ト認メ發シタル手形
 ナルヲ以テ亦無効ニ歸セサルヲ得スト判決セラレタリ蓋シ其手
 形ハ甲會社ノ通常取扱フヘキ事業ニ關係アラサルヲ以テナリ又
 會社ハ其設立ヲ許サレタル目的以外ノ事業ニ從事スルヲ得サル
 ト均シク若シ或目的ニ使用センカ爲メ土地ノ地役權又ハ其他ノ
 權利ヲ得タル場合ニ於テモ其之ヲ得タル目的以外ニ使用スルコ

トチ得サルナリ

第二節 通常ノ方法ニ依リ會社ノ事業ヲ擴張スル事

凡ソ會社ハ其本目的タル事業ニ關係ナキコトニ從事スルチ得サルモノナリト雖モ其目的トスル所ノ事業ヲ行フノ手段トシテ必要欠クヘカラサル事ハ皆之ヲ行フコトチ得ルモノニシテ又其營業ニ附屬スル所ノ事柄ハ總テ之ヲ執行スルチ得ヘシ故ニ或訴訟事件ニ於テハ鐵道會社ハ其停車場ヨリ市中ノ各所ニ乗客ヲ送ル爲メ乗合馬車ヲ置キ又乗客ノ便利ノ爲メ停車場内ニ休息所ヲ設ケ或ハ食料品等ヲ備置ク等總テ乗客ノ爲メニハ便利ニシテ會社ニ取りテハ其収益ヲ増加スルノ手段トナルヘキコトヲ爲スチ得ヘシト判決セラレタリ又會社ハ最初其設立ニ當リ創立者ノ計畫

セシ事業外ニ渉ル事ト雖モ眞ニ其本事業ニ附屬シ且益々其事業ヲ増進スルノ手段ト爲ルヘキ事ハ皆之ヲ爲シ得ルモノトス然レモ最初會社ノ計畫シタルヨリハ一層其事業ノ範圍ヲ擴張スルコトニ關シテハ之レカ制限ナキニアラス而シテ其制限如何ノ一點ニ至テハ合衆國ニ於テ判決セラレタルマヂソン云々道路會社對ウチートルトウ云々道路會社ノ訴訟ノ如キハ最モ有名ナリトス該訴訟ニ於テ判事カ説明テ下シタル言ニ據ルニ若シ會社ハ行フタル所爲及其採用シタル手段果シテ會社ノ本目的ヲ達スルニ相當シタルモノナルトキハ其所爲若クハ其手段ハ縱令會社ハ設立書類ヲ以テ明許シタルモノニアラサルモ暗ニ許容セラレタルモノニシテ會社ハ之ヲ行フハ權アルモノト看做サルヘカラス

ト又英國ニ於テ判決セラレタルグレゴリー對パッチエットノ訴訟ニ於テ「マストル、オフ、ロールス」ノ言ニ曰ク「本件ニ於テ最モ困難ナリトスル論點ハ會社カ其事業ヲ擴張スルノ主意ヲ以テ其本業外ノ事ヲ爲シタル時ハ須ラシ其事ト會社ノ本業ト相隔絶スル何程ナルニ於テハ裁判所ハ之ニ干涉シ會社カ其事業ニ從事スルヲ禁スルコトヲ得ヘキヤヲ決スルニアリ若シ夫レ鐵道會社ノ取締役ニシテ其會社ノ資本ヲ釀酒事業又ハ漁船會社ノ事業ニ投セントシ若クハ物品賣買ノ事業ニ從事セントスルカ如キ場合ニ於テハ則チ著シク會社ノ事業ト懸隔セル事柄ヲ爲サントスルモノナルヲ以テ裁判所カ之レニ干涉シ禁令ヲ發スルコトヲ得ルハ勿論ナリト雖モ往々之ヲ決スルハ容易ナラサルコトアリ」ト今一二ノ實例

ニ據リ之ヲ明カニスヘシ先ツ鐵道會社ニ於テ殆ント其本目的ノ事業ニ關係ナキニモ係ラス其從事シ得ヘキ事業ナリト判決セラレタル一例ヲ舉ケンニ「ライド對東ベンガル鐵道會社」ノ訴訟ニ於テ「マストル、オフ、ロールス」ノ言ニ曰ク抑モ石炭ハ鐵道事業ニ關シ最モ必要ナルモノナルヲ以テ若シ鐵道會社ニ於テ石炭坑ヲ買入レ自ラ石炭ヲ採掘スル時ハ他ヨリ之ヲ買入ル、ニ比セハ遙カニ廉價ナル時ハ會社ハ自己ノ需要ノ爲メ石炭ヲ採掘シ得ヘキハ勿論ニシテ若シ其要スルヨリ多量ノ石炭ヲ得ルニ於テハ他人ニ之ヲ賣却スルモ決メ禁スヘキノ限リニアラサルヘシ即チ此場合ニ於テハ鐵道會社ハ成ル可ク廉價ニ石炭ヲ得ルノ方法トシテ石炭ヲ採掘スルモノニ決シテ之ヲ販賣スルノ目的ヲ以テ採掘スル

ニ非ルヲ以テ縱令其探掘シタル石炭ヲ他人ニ賣渡シ以テ會社ニ於テ利益ヲ得ルコトアルモ其探掘事業ハ禁ス可キモノニアラストス又硝子製造并ニ其販賣事業ニ從事スル爲メ新ニ設立セラレタル會社カ其創立ニ際シ從來硝子製造事業ニ從事シ居リタル他ノ會社ヨリ其製作場及製造機械等ヲ買入レタリニ其製作場ニ大修繕ヲ加フルノ必要アリシカ爲メ新會社ハ暫ク硝子器具ヲ製造スルコト能ハサリキ然ルニ同會社ニ取リテハ舊會社ノ得意先ヲ失ハサルコト最モ緊要ニシテ得意先キノ注文ニ應スル爲メ其商品ノ欠乏ヲ生セサル様注意セサルヘカラサルヲ以テ其製作場ニ於テ硝子器具ヲ製造シ得ルニ至ルマテハ他ヨリ硝子類ヲ買入レ之ヲ貯藏スルノ必要ヲ生シ已ムヲ得ス之ヲ買入レタリ而シテ

此場合ニ於テハ仮令硝子製造販賣會社カ自カラ硝子器ヲ製造セスシテ他ヨリ之ヲ買入レタレハ却決シテ其會社設立ノ目的ニ違背シタル所爲トナスコトヲ得スト判決セラレタリ

第三節 會社ノ營業ヲ擴張スル方法ニシテ其直接ナル

モノト間接ナルモノトノ區別ヲ論ス

抑モ會社ハ其本目的タル所ノ事業ニ從事シ又其事業ノ範圍ヲ擴張シ成ルヘク其利益ヲ増進スルコトヲ圖ルコトヲ得ルハ勿論ナレトモ其事業ヲ擴張スルハ專ラ直接ノ手段ニ依ルヘク決シテ間接ノ手段ニ因リ其利益ヲ増進スルコトヲ圖ルコトヲ得ス例之ハ一ノ會社ニシテ之ト關係ナキ他ノ會社若クハ他人ノ事業ヲ補助シ以テ間接ニ其利益ヲ得ルコトヲ勤ムルカ如キハ決シテ法律ノ

許ス所ニアラサルナリ何トナレハ他人若クハ他ノ會社ノ事業ヲ補助獎勵スルヲ以テ會社ノ權限内ニ屬スルモノト爲サンカ却テ會社ノ取締役等ハ其本目的タル事業ヲ充分ニ修メスシテ會社ノ資本ヲ他人若クハ他ノ會社ノ事業ニ投スルカ如キ弊害ヲ生スルハ勢ノ免レサル所ナレハナリ依テ一ノ鐵道會社カ其瀛車ヲ往復セシムル兩地ノ間ニ於テ他ノ會社カ又將ニ一線路ヲ敷設シ以テ之ト競争ヲ試ミントスルノ景況アルニ際シ其競争ヲ避ケンカ爲メ他ノ會社カ鐵道ヲ敷設セントスル土地ヲ買入レタル場合ニ於テハ前會社ハ間接ノ手段ニ依リ自己ノ利益ヲ増進セントスルモノナルヲ以テ其會社ニ於テ該地所ヲ直接ニ使用スルノ目的他ニ存セサル以上ハ會社ハ之ヲ買入ル、コヲ得スト判決セラレタ

リ又コルマン對イーステルン鐵道會社ノ訴訟事件ニ於テ被告會社ハハルウイット稱スル地マテ其鐵道ヲ敷設シ之ヨリ先キニハ其乗客ヲ送ルコト能ハサリシカ會々一ノ瀛船會社ヲ設立シハルウイットヨリ旅客ヲ瀛船ニテ各地ニ運搬スルノ事業ヲ開始セントスルノ計畫アルニ際シ若シ其瀛船會社ノ設立セラル、ニ於テハ該鐵道會社ハ其乗客ノ數ヲ増加シ大ニ利益アルヲ察シ其瀛船會社ノ株金ニ對シテ利益配當ノ保證ヲ爲セリ此ニ於テ被告會社ノ株主タルコルマンハ訴訟ヲ起シ以テ被告會社カ瀛船會社ノ利益配當ヲ保證スルヲ禁止セラレンコトヲ請求シタリシニ裁判所ハ原告ノ請求ヲ許セリ是亦會社ハ間接ノ方法ニ依リテ其利益ヲ増進スルコトヲ圖ルヘカラストノ原則ニ據ルモノナリ

第三章 會社カ其營業上ノ事業ニ關シ負擔スル所ノ義務ヲ論ス

凡ソ商業會社ハ其設立ノ許可アルト同時ニ其營業ノ全部若クハ一部ヲ必ス行ハサルヘカラサル義務ヲ負擔スルコトアリ而シテ一會社ニシテ果シテ斯ノ如キ義務ヲ負擔シタル乎將タ否ラサル乎又若シ此義務アリトセハ其許可ヲ得タル事業ノ如何ナル部分ハ之ヲ行ハサルヘカラサルヤ等ハ須ラク其會社設立ニ關スル書類ニ徵シテ決スヘキ事ニシテ一言半句ノ能ク決スヘキニアラサルナリ故ニ本章ニ於テハ唯務メテ其緊要ナル規則ヲ示スヘキ抑モ商業會社ニシテ別段特有ナル權利ヲ有スルコトナク唯一個ノ商人ノ有スルト同一ノ權利ヲ以テ商工業ノ事ヲ營ムニ止ルト

キハ其營業ノ全部若クハ其一部ヲ必スシモ行ハサルヘカラサルノ義務ヲ負擔スルコトナシ固ヨリ法律上會社ノ設立ヲ許シ之ニ一個人タルノ資格ヲ附與スルニ方リテハ政府ハ如何ナル義務ニテモ之ヲ其會社ニ負擔セシムルコトヲ得ヘク若シ會社ニ於テ其義務ヲ引受ケサルトキハ其設立ヲ許サ、ルヘシト斷言スルハ政府ノ權内ナリト雖トモ實際特殊ノ權利ヲ會社ニ附與スル場合ノ外ハ此ノ如キ義務ヲ負擔セシムルコトアラサルナリ又利益ヲ得ルヲ以テ目的トシ、設立シタル會社ニシテ特殊ノ權限ヲ附與セラレタル場合ニ於テモ會社カ其事業ヲ全ク行フト之ヲ全廢スルトハ、一ニ其意ニ放任スル所ナリトス然レトモ苟モ事業ニ從事スル間ハ其設立ヲ許シタル所ノ條例ノ旨趣ニ從ヒ其營業ノ全部若

ク、ハ、一、部、ヲ、必、ス、履、行、セ、サ、ル、可、ラ、サ、ル、者、ト、ス、而、シ、テ、若、シ、設、立、條、例
 ニ、因、リ、斯、々、ノ、事、柄、ヲ、爲、ス、ヘ、シ、ト、命、セ、ラ、レ、タ、ル、ニ、モ、係、ラ、ス、之、ヲ、爲
 サ、ル、場、合、ニ、於、テ、若、シ、其、會、社、カ、其、營、業、ノ、一、部、ヲ、行、ハ、サ、ル、カ、爲、メ
 ニ、損、害、ヲ、蒙、ル、者、ア、ル、片、ハ、會、社、ハ、之、ニ、對、シ、テ、賠、償、ノ、責、任、ヲ、免、レ、サ
 ル、者、ト、ス

凡、ソ、法、律、ニ、於、テ、或、人、ニ、義、務、ヲ、負、擔、セ、シ、メ、タ、ル、以、上、ハ、之、ニ、對、ス、ル
 權、利、ヲ、享、有、ス、ル、モ、ノ、ア、ル、ハ、必、然、ノ、コ、ト、ニ、シ、テ、其、權、利、者、ハ、社、會、即
 チ、國、家、ナ、ル、コ、ト、ア、リ、又、一、個、人、ナ、ル、コ、ト、ア、リ、而、シ、テ、若、シ、其、權、利、タ
 ル、社、會、全、體、ノ、有、ス、ル、所、ニ、シ、テ、各、個、人、ノ、單、獨、ニ、有、ス、ル、所、ニ、ア、ラ、サ
 ル、時、ハ、其、義、務、ノ、懈、怠、ハ、刑、律、ヲ、以、テ、懲、罰、ノ、方、法、ヲ、設、ク、ル、ヲ、常、ト、ス
 然、レ、ト、モ、若、シ、社、會、チ、一、體、ト、看、做、シ、テ、之、ニ、權、利、ヲ、與、ヘ、タ、ル、ニ、非、ス

シ、テ、何、人、ニ、テ、モ、各、自、單、獨、ニ、權、利、ヲ、有、ス、ル、モ、ノ、ト、シ、タ、ル、ト、キ、ハ、其
 義、務、ノ、懈、怠、ニ、因、リ、損、害、ヲ、蒙、リ、タ、ル、モ、ノ、ハ、義、務、者、ニ、對、シ、損、害、ノ、賠
 償、ヲ、要、求、ス、ル、ノ、權、ア、ル、ヲ、常、ト、ス、然、リ、而、シ、テ、會、社、カ、其、營、業、ニ、關、シ
 負、擔、ス、ル、義、務、ニ、對、ス、ル、權、利、者、ハ、各、一、個、人、ナ、リ、ト、ス、例、ヘ、ハ、英、國、ノ
 千、八、百、四、十、七、年、ノ、水、道、條、例、ニ、據、レ、ハ、水、道、ヲ、敷、設、シ、タ、ル、者、ハ、必、ス
 其、敷、設、ニ、係、ル、水、道、ノ、水、量、ヲ、充、分、ナ、ラ、シ、メ、該、條、例、ヲ、以、テ、定、メ、タ、ル
 タ、ケ、ノ、壓、力、ハ、其、水、道、ノ、水、ニ、保、存、シ、火、災、ア、ル、ニ、際、シ、テ、ハ、消、防、ノ、爲
 メ、之、ヲ、使、用、ス、ル、ニ、聊、カ、差、支、ヘ、ナ、キ、様、豫、テ、注、意、ヲ、加、フ、ル、義、務、ア、リ
 而、シ、テ、水、道、敷、設、者、ニ、於、テ、若、シ、此、義、務、ヲ、怠、リ、タ、ル、ト、キ、ハ、十、磅、ノ、罰
 金、ニ、處、ス、ル、モ、ノ、ト、セ、リ、然、ル、ニ、ユ、ー、カ、ス、ル、水、道、會、社、ナ、ル、モ、ノ、ハ
 其、水、道、ニ、充、分、ノ、壓、力、ヲ、有、セ、シ、メ、サ、リ、シ、ニ、會、々、ア、ト、キ、ン、ソ、ン、ノ、ナ、ル

者ノ家宅ニ於テ火ヲ失シアトキンソンハ其水道ノ水ヲ使用シテ
鎮火セントシタレトモ水壓ノ微弱ナリシカ爲メ遂ニ防火スル能
ハス其家ハ燒失セリ此場合ニ於テアトキンソンハ會社ニ對シ損
害要償ノ權利アルモノト判決セラレタリ是即チ會社ノ義務ハ各
個人ニ對スル義務ナリト云フ所以ナリ

第四章 營業事務取扱上ニ係ル會社ノ權限ヲ論ス

第一節 會社ノ内事ニ關スル會社ノ權

凡ソ商業會社カ其内事ニ關シ爲シタル一切ノ所爲ハ其社員ノ一
部ニ對シ詐欺ト爲ルヲ免レサルカ又ハ甚タ不公平ナル處置タル
ヲ免レサル場合ヲ除クノ外裁判所ハ決シテ其内事ニ干涉スルモ
ハニアラストハモズレ一對アルストンノ訴訟ニ於テ判事コッテン

ハム卿カ斷言シタル規則ニシテ會社ノ内事ニ關シテハ裁判所カ
容易ニ干涉スルコトアラサルヲ以テ或ハ社員ノ一部ハ社員ノ多
數ニ制セラレ多少不幸ヲ蒙ルコトナキニアラスト雖トモ會社内
ノ事ハ如何之レヲ取計フトキハ果シテ會社ノ爲メニ最モ利益ナ
ルヘキヤノ一点ニ至テハ社員等カ其得失ヲ最モヨク了知スヘキ
筈ナルヲ以テ到底社員ノ多數決ニ任スルノ外他ニ良策アルヲ見
サルナリ加之ナラス此規則アルカ爲メ些細ノ事ヲ理由トシテ漫
リニ訴訟ヲ起スノ弊ヲ防止スルコト勘ナカラス故ニ仮令社員ノ
幾分ニ取リテハ常ニ壓制ノ規則タルヲ免レスト雖トモ亦以テ良
法ト謂ハサルヘカラス

一 役員ノ俸給手當等ニ關シ會社ノ爲シタル取極

會社カ其役員ノ俸給手當等ニ關シ定メタル規則及契約ハ全ク營業事務取扱上ノ事柄ナルヲ以テ單ニ會社ノ判斷ニ放任シ敢テ法廷ノ干涉スル所ニアラサルナリ今之ヲ道理上ヨリ考フルモ會社ハ其役員及ヒ其雇人ト何等ノ取極ヲ爲スモ可成的彼等ヲシテ能ク其職業ニ勉勵セシムル様取計フハ固ヨリ會社ノ權内ナリト云ハサルヘカラス而シテ職工獎勵ノ爲メ會社ノ役員等カ爲セタル取極ニ關シ其當否ヲ爭フタル顯著ナル訴訟ハハンプソン對ブライス專賣特許蠟燭製造會社ノ訴件ナリトス今其事實ノ概畧ヲ述レバ千八百七十五年該會社ノ事業最モ盛大ヲ致シ其利益莫大ナルニ當リ事務員等ハ其會社ノ使役セル職工一同ニ對シ給料ノ外各自一週間ノ給料ト同一ノ金額ヲ賞與トシテ與ヘントシタリシ

ニ該賞與ノ爲メ要スル所ノ金額ハ千五百磅ノ巨額ニ達スルヲ以テ一應株主總會ノ議事ニ附スルコソ穩當ナリトテ之ヲ總會ノ議事ニ附シタリシニ多數決ヲ以テ總會ハ此議案ヲ可決セリ此ニ於テ本案ニ反對セル株主ハ會社ヲ相手取り訴ヲ起シ右議決ノ取消ヲ需メタリシニ裁判所ハ判決ヲ下シテ曰ク此賞與金給與ノ事タル會社カ總會ノ多數決ニ依リ斷行スルコトヲ得ルハ勿論縱令事務員等ニ於テ總會ノ決議ヲ保タスシテ之ヲ給與スルモ全ク事務取扱上ニ關スルコトナルヲ以テ不同意ノ株主ハ之ニ對シ故障ヲ爲スコトヲ得スト

二 會社ノ營業上其得意先トナシタル取極

一般商人ハ成ル可ク得意先ノ便利ヲ計ルコトヲ勤ムルモノニシ

テ設令得意先ヨリ受取ルヘキ代金等アルモ強テ督促ニ及ハサルハ商業社會ノ習慣ナリ故ニ若シ會社ニシテ一般商業ノ慣習ニ從ハスシテ商業社會ニ獨立獨行ヲ爲スニ於テハ到底競争場裏ニ勝ヲ制スルコト能ハサルハ辨テ俟タスシテ明カナリ故ニ銀行ノ如キハ最モ確實ナル抵當アルニアラサレハ貸付金等ヲナサ、ルモノナレトモ常ニ金錢ヲ預ケ置ク人會々其銀行ニ來リテ金圓入用ノ趣ヲ告グルニ當リ其要スル所ノ金額ヲ銀行ニ於テ拂渡ス時ハ預リ金ノミニテハ不足ナルヲ以テ多少ノ金額ヲ無抵當ニテ貸與スルノ姿ニナルモ決シテ銀行ノ所爲ヲ不當ト爲スヘキニアラス何トナレハ金錢ヲ預ケ置ク人ト之ヲ預リタル人トノ間ニ斯ノ如キ取引アルハ普通ノコトナレハナリ故ニ仮令此場合ニ於テ銀行カ

預ケ主ヘ其要求金額ヲ拂渡シタルハ不當ナリトテ株主ヨリ故障ヲ申立ツルトアルモ裁判所ハ決シテ之ヲ採用スルモノニアラス又此等ノ取引ノ爲メ銀行カ損害ヲ蒙ルコトアルニモセヨ若シ其銀行ノ支配人等ニ於テ詐欺ナキ以上ハ其支配人等チシテ此等ノ取引ヨリ生シタル損害ヲ辨償セシムルモノニアラサルナリ又保險會社カ火災若クハ水難及ヒ其他一切ノ災害ニ對シ保險ヲ爲シタル場合ニ於テ火藥ノ破裂ニ依リ物件ノ損失シタル場合ニハ會社ハ其保險金ヲ支拂フ限ニアラスト豫メ特約シ置キタルニモ拘ハラス火藥破裂ノ爲メ生シタル損害ニ對シ保險金ヲ拂渡サハ會社ノ得意ヲ増シ却テ將來會社ノ利益ナルヘシト思料シ事務員カ之ヲ拂渡シタル場合ニ於テ若シ一般保險會社カ斯ノ如キ場

合ニ於テ其特約アルニモ拘ハラス保險金ヲ支拂フヲ以テ通例トスルトキハ裁判所ハ事務員ノ所爲ヲ取消スコトアラサルヘシ何トナレハ此場合ニ於テハ事務員カ會社ノ資本金ヲ其營業外ニ使用シタルモノニアラスシテ其會社ノ營業上成ルヘク其收入ヲ増進センコトヲ圖リテ支出セシコト明瞭ナレハナリ

三 會社カ其負債者ニ對シテ爲シタル取極

抑モ會社ハ其負債主ヨリ成ル可ク損害ヲ蒙ラサランカ爲メ必要ナル取極ヲ適宜ニ爲スコトヲ得ル者ニシテ負債主ノ便宜ヲ計リ負債ノ辨濟ヲ延期スル等ハ會社ノ權内ナリトス又其負債者ニシテ到底其負債ヲ辨償スル能ハサルカ如キ場合ニ際シテハ成ル可ク損害ヲ蒙ムラサランカ爲メ相當ノ取極ヲ爲スハ是亦會社ノ權

内ナリト云フヘシ故ニ通常ノ場合ニ在リテハ會社ノ越權ノ所爲ナリト認ムヘキ事ト雖トモ特別ノ事情アルトキハ尙ホ有効ナリトス例ヘハ銀行ニ於テ牛酪ノ如キモノヲ賣却スルヲ得サルハ無論ノコトナリト雖モ其負債者ヲシテ他ニ返金セシムルノ途ナキニ依リ負債者ノ所有ニ係ル牛酪ヲ引取り之ヲ賣却シタルコトアリシカ裁判所ハ此銀行ノ所爲ヲ以テ有効ト認メタルコトサヘアリタリ然レトモ通常ノ場合ニ於テハ會社ノ越權ノ所爲ト認ムヘキ事ヲ特殊ノ事情アルコト因リ有効ト爲スニハ左ノ事實具備シタルヲ要ス

第一 其事タル其當時ノ情況ニ依リ已ムヲ得サルニ出テタルコト

第二 會社ニ於テ斯ノ如キ事ヲ爲サ、ルヲ得サル場合ニ立至

一 リタルハ全ク豫知シ得ヘカラザリシコト

第三 一時限リノ處分トシテ之ヲ行フタルコト

第四 其事タル營業上ノ取引ヨリ直接ニ生シタル結果ナルコ

ト

第二節 會社ノ外事ニ關スル會社ノ權

凡ソ會社ノ取引ハ其會社内ニ關スルモノト會社外ニ關スルモノトヲ明ニ區別シ得ヘキモノニアラス而シテ會社ノ取引ハ内外ノ區別ニ拘ハラズ其營業上ノ取引ニ關シ會社ノ爲ス所ノ事ハ法律ハ成ルヘク之ヲ會社ノ自由ニ放任スルモノナリ茲ニ會社カ他人ト取引シタル事ニ付キ注意スヘキ一問題ハ會社カ報酬ヲ得スシ

テ其財産ノ全部若クハ一部ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於テ其讓渡ヲ以テ果シテ有効ト爲スヘキヤ否ヤノ點ナリトス凡ソ會社カ其財産ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於テ其讓渡ニ依リ報酬トシテ現在若クハ將來ニ多少ノ利益ヲ受クヘキ用途アラサルトキハ空シク社員ノ損失ヲ來スコトナルヲ以テ仮令一人ノ社員タリトモ之ニ對シ異存ヲ懷クモノアル以上ハ會社ハ社員ノ多數決ヲ以テ之ヲ斷行スルコト能ハサルモノトス然レトモ社員中一人ノ異存者ナキニ於テハ其社員等カ隨意ニ其所有ニ屬スル財産ヲ他人ニ讓渡スコトナレハ苟モ其讓與ニシテ破産法又ハ會社解散條例ノ明文若クハ該法律ノ精神ニ違背スル所ナキ以上ハ全ク有効ナリト云ハサルヘカラス故ニ前述ノ如ク報酬ナキ場合ニ於テハ社員

全、体、ノ、同、意、ヲ、行、フ、ニ、ア、ラ、ス、ン、ハ、其、財、産、ノ、讓、與、ヲ、以、テ、無、効、ト、ナ、ス、ハ、
 一、般、ノ、原、則、ナ、リ、ト、ス、然、レ、モ、現、ニ、約、報、ア、リ、ト、云、フ、ヘ、カ、ラ、サ、ル、場、合、
 ニ、於、テ、モ、尚、ホ、社、員、全、体、ノ、同、意、ナ、ク、シ、テ、爲、シ、タ、ル、取、引、ヲ、以、テ、有、効、
 ト、ス、ル、コ、ト、ナ、キ、ニ、ア、ラ、ス、其、一、ハ、創、立、者、ニ、拂、渡、ス、ヘ、キ、報、酬、是、ナ、リ、
 抑、モ、創、立、者、ナ、ル、モ、ノ、ハ、無、形、人、タ、ル、會、社、ノ、存、在、ス、ル、以、前、ニ、於、テ、其、
 創、設、ノ、爲、メ、盡、力、シ、タ、ル、人、ナ、レ、ハ、會、社、設、立、ノ、後、ニ、至、リ、會、社、ト、創、立、
 者、ト、ノ、間、ニ、報、酬、任、拂、ノ、契、約、ヲ、締、結、ス、ル、モ、其、約、報、ハ、既、ニ、過、去、ニ、於、
 テ、爲、サ、レ、タ、ル、所、爲、ナ、ル、ヲ、以、テ、契、約、法、ノ、原、則、ニ、照、シ、テ、約、報、タ、ル、ノ、
 効、力、ア、ラ、サ、ル、ナ、リ、夫、レ、斯、ノ、如、ク、契、約、法、ノ、原、則、ニ、照、ス、ト、キ、ハ、此、報、
 酬、任、拂、ノ、契、約、ハ、無、約、報、ノ、契、約、ナ、リ、ト、雖、モ、道、德、上、創、立、者、カ、會、社、ヨ、
 リ、報、酬、ヲ、受、ク、ル、ハ、固、ヨ、リ、相、當、ノ、コ、ト、ニ、シ、テ、又、實、際、衡、平、法、裁、判、所、

於、テ、ハ、創、立、者、ノ、要、求、ア、ル、ニ、於、テ、ハ、報、酬、ヲ、任、拂、ハ、シ、メ、タ、ル、コ、ト、
 ア、リ、其、二、ハ、會、社、ニ、於、テ、既、ニ、解、雇、シ、タ、ル、所、ノ、雇、人、等、ニ、拂、渡、ス、ヘ、シ、
 ト、約、シ、タ、ル、恩、給、年、金、ノ、如、キ、是、ナ、リ、此、場、合、モ、亦、約、報、ナ、キ、ノ、契、約、ト、
 云、ハ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、何、ト、ナ、レ、ハ、此、恩、給、年、金、ナ、ル、モ、ノ、ハ、雇、人、等、カ、在、
 職、中、特、別、ニ、事、務、ニ、勉、勵、シ、タ、ル、功、勞、ニ、酬、ユ、ル、爲、メ、與、フ、ル、モ、ノ、ニ、シ、
 テ、即、チ、過、去、ノ、事、柄、ヲ、以、テ、約、報、ト、爲、シ、年、金、ヲ、與、フ、ヘ、シ、ト、約、ス、ル、モ、
 ノ、ナ、レ、ハ、ナ、リ、故、ニ、斯、ノ、如、キ、契、約、ハ、約、報、ノ、存、在、セ、サ、ル、ヤ、明、カ、ナ、リ、
 ト、雖、モ、社、員、ノ、多、數、決、チ、以、テ、恩、給、任、拂、ヲ、可、決、シ、タ、ル、以、上、ハ、其、年、金、
 タ、ル、不、當、ノ、多、額、ニ、ア、ラ、サ、ル、ニ、於、テ、ハ、裁、判、所、ハ、之、ヲ、有、効、ト、ス、ル、モ、
 ノ、ナ、リ、

第四編 會社ノ會計事務ヲ論ス

第一章 會社ノ金錢取扱方法

會社カ營業ヲ行フニ當リ金錢ノ必要アルハ固ヨリ通常一個人ト異ナルコトナシ故ニ通常一個人ノ行ヒ得ヘキ金錢上ノ取引ハ會社ニ於テモ亦行フコトヲ得ルモノトス例ヘハ商人ヨリ物品ヲ買入ル、ニ當リ其買入ノ都度代金ヲ仕拂ハスシテ懸賣ノ方法ニ依リ毎月末若クハ其他適宜ニ期限ヲ定メ商人ヨリ勘定書ヲ送附スルヲ待テ仕拂ヲ爲スカ如キ取極メハ會社ニ於テモ隨意ニ之ヲ爲スコトヲ得又日々營業上領收スル所ノ金錢モナルヘク之ニ因リ多額ノ利益ヲ生セシメンカ爲メ其相當ト認メタル所ヘ預ケ置クコトヲ得ヘシ又都合ニ因リ會社ハ其金錢ノ預ケ先キヲ自由ニ

變更スルヲ得ルモノトス然レトモ是等ノ預ケ金ヲナサントスルトキハ勤メテ確實ナル方法ニ據ルヘク又會社ノ資本金ヲ會社ノ本目的タル事業ニ使用セスシテ猥リニ株券手形等ヲ買入レ株式賣買ヲ會社ノ本業トスルカ如キ所爲アルヘカラサルハ勿論ナリトス

第一節 會社ニ於テ仕拂義務ヲ負フノ權

此仕拂義務ヲ負フトハ英語ノ所謂「デット」ヲ作ルノ義ニシテ負債即借金ヲナスノ權ヲ謂フモノニ非ス會社カ物品ヲ買入レ又ハ人ヲ雇入レ仕事ヲ爲サシムル等ノ場合ニ於テ一々現金ヲ以テ代價若クハ貸錢ヲ仕拂ハサルヘカラストスル時ハ反テ事務ノ錯雜ヲ來シ其繁忙ニ堪ヘサルヘキナリ故ニ其仕拂ヲ遂ケサル間暫ク仕拂義

務ヲ負擔スルハ固ヨリ免レサル所ニシテ是亦會社ニ取リテハ一種ノ負債ナリトス然レトモ此負債ハ現金ヲ以テ借入タル借金トハ其性質上大ニ異ナルモノニシテ斯ノ如ク會社カ仕拂義務ヲ負擔スルハ其營業上免レサル所ナルヲ以テ法律ハ一切ノ會社ニ仕拂義務ヲ負フノ權ヲ許スモノナリ然リ而シテ商業會社ハ啻ニ其要スル所ノ消耗品ノ代價又ハ其雇人ノ給金及其他ノ必要費ニ就キ負債ヲ負フコトヲ得ルノミナラス物品ノ販賣ニ從事スル會社ノ如キハ其商品ヲ買入ル、ニ當リ仕拂義務ヲ負擔スルヲ得ルモノトス而シテ一會社ニシテ果シテ如何ナル方法ニ因リ仕拂義務ヲ負擔スルコトヲ得ルカ即チ如何ナル取引上生シタル負債ハ其會社ニ對シ辨償ヲ求メ得ヘキヤハ其營業ノ種類ニ因リ異ナ

ルモノトス今會社ニ對シ負債ノ生スヘキ取引ヲ列舉スレハ即チ左ノ五ナリトス

- 一 借金スルコト
- 二 當座預ケトシテ銀行へ金錢ヲ預ケ置キタル場合ニ於テ之ヲ引出シ過キタルコト即チ預ケ金ヨリ多額ノ金ヲ引出スコト
- 三 約束手形爲替手形等ノ振出人又ハ仕拂人トナルコト
- 四 會社ノ本事業ニ使用スルヲ口實トシ其實會社ノ事業ニ必要ナラサル物品又ハ材料等ヲ買入レ未ダ其代價ヲ仕拂ハサル時
- 五 眞ニ會社ノ本事業ニ用ユル爲メ物品材料等ヲ買入レ未ダ

其代價ヲ仕拂ハサル時

會社チシテ仕拂義務ヲ負ハシムヘキ方法ハ右ニ掲ケルカ如ク類別シテ之ヲ五トナスヲ得ヘシト雖モ會社ハ必スシモ右ノ五ノ方法ニ依リ負債ヲ生セシメ以テ其辨償ノ責ニ當ルノ能力アルモノニ非ス即チ營業上必要ノ商品ヲ購求シ依テ以テ負債ヲ負フノ權アル會社ト雖モ必ラスシモ金員ヲ借入レ又ハ流通手形ヲ發シ以テ仕拂義務ヲ負フコトヲ得ルモノニアラサルナリ

右ニ掲ケタル五方法ノ第一即チ金員ヲ借入ル、事ニ付テハ第二節ニ於テ詳述スヘキヲ以テ今茲ニハ直チニ第二ノ方法即チ當座預ケ金引出シ過キニ因リ負債ヲ生スルコトニ就キ説明セントス

元來歐米各國ニテハ商人ハ成ルヘク手許ニ金員ヲ置カスレテ之

ヲ悉ク銀行ニ預置キ金圓ノ支拂ヲ爲ス度毎ニ振出小切手ヲ認メ之ヲ要求人ニ渡シ要求人ヲシテ現金ヲ銀行ヨリ受取ラシムルノ慣例ナリ故ニ各商人ハ其手許ニ不用ノ金員アルトキハ直チニ銀行へ持行き之ヲ預ケ置キタル上入用アルニ際シテハ隨意ニ之ヲ引出スモノナリ故ニ當座預ケトシテ多額ノ金圓銀行ニ預ケアルコトアリ又タ時トシテハ却テ銀行ヨリ若干ノ金員ヲ借リタル姿トナルコトアルハ勢免レサル所ナリ此ノ如クニシテ銀行ニ對シ生シタル所ノ負債ハ決シテ通常ノ借金ト同一視スヘキモノニ非ス自ラ其性質上差違アルモノナリ然リ而シテ商業會社ハ借金ヲナスノ權アルモノト否トヲ問ハス通常ノ商人ト均シク時トシテハ銀行ヨリ預ケ金ヲ引出シ過キタルニ由リ銀行へ對シ仕拂義務ヲ負

フノ能力ハ必ラス之ヲ有スルモノトス
 第三ノ方法即チ流通手形ヲ發スルコトニ付テハ他ノ章ニ於テ論スヘキヲ以テ茲ニ之ヲ詳述セサルヘシ然レトモ營業上ノ取引ニ因リ會社カ流通手形ヲ發シタル場合ニ於テ之ヲ以テ營業上生シタル仕拂義務トシ其支拂ヲ會社ニ對シ要求スルコトヲ得ルヤ否ヤノ点ニ就キ一言スヘシ抑モ會社ニ於テ流通手形ヲ發スルノ權ハ一ノ特權ナルヲ以テ會社ノ設立ニ關スル書類ヲ以テ明ラカニ此權ヲ附與セラレタルカ又ハ該書類ノ文意ヨリ推シテ考ヘ若クハ其營業ノ性質上ヨリ考察スルニ會社ハ暗ニ手形ヲ發スルコトヲ許サレタルモノト斷定シ得ヘキ場合ニアラスンハ會社ノ手形ヲ以テ其權内ノ取引ニ出テタルモノト爲スコトヲ得ス從テ會

社ニ對シ其仕拂ヲ要求スルヲ得サルナリ又設令會社ハ手形ヲ發スルノ權ヲ有スル場合ト雖モ若シ會社カ之ヲ發シタルハ現ニ金錢ヲ借入ル、ノ手段トナシタルト明瞭ナルニ於テハ借金ヲ作ルノ權ナキ會社ハ之ニ因リ仕拂義務ヲ負フモノニアラス故ニ金錢ヲ借入ル、ノ權ナキ會社カ其營業上振出シタル手形ニ對シ仕拂義務ヲ負フ場合ハ其會社カ手形ヲ振出スノ權ヲ明然若クハ暗然ニ附與セラレタルモノニシテ且借金ヲ爲スノ手段トシテ之ヲ振出シタルニアラサル時ニ限ルモノトス

次ニ第四第五ノ方法ニ就キ一言センニ物品若クハ材料及其他ノ動産不動産ヲ會社ニ於テ買入レタルトキ若シ其買入レタル物件現ニ會社ニ於テ營業上使用スルヨリモ多量ナルニモセヨ若シ會

社ノ本事業ニ使用スルタメ買入レタルモノナルトキハ其買入代金仕拂未済ノ分ハ營業上生シタル負債ニシテ會社ノ權内ニ於テ生シタル負債ト謂ハサルヘカラス然リト雖モ現ニ必要ナルヨリ多額ナルヲ知リナカラ買入レタルトキハ正當ニ營業上生シタル負債ニアラサルヲ以テ其賣買ハ會社ノ權内ニ於テ爲シタルモノト謂フヲ得サルナリ依テ其賣買ハ無効ニ屬シ會社ハ代金仕拂ノ義務ヲ負フモノニアラサルナリ

今右ニ掲ケタル方法ニ依リ生シタル負債辨償ノ方法ヲ述ブニ會社モ普通ノ一個人ト均シク現金仕拂又ハ示談若クハ其他ノ方法ニ依リ辨償スルヲ得ヘシ然レモ會社ノ通常行ヒ得ヘキ事柄ニハ必ラス制限アルヲ以テ假令其負債ヲ辨償スルカ爲メナルモ其權

限外ノ事ヲ爲スヲ得サルハ言テ俟タサルナリ併シ非常ノ手段ヲ盡スニアラサレハ其會社ノ維持若クハ其事業ノ繼續ヲ圖ル能ハサルカ如キ場合ニ於テハ事ノ緩急ニ應シ其權限外ニ涉ルト雖モ財產ヲ賣却スル等適宜ノ方法ニ據リ其負債ヲ辨償スルコトヲ得又會社カ負債ノ爲メ解散セサルヘカラサル時ニ當テハ各債主ニ對シ平等均一ニ負債ノ償却ヲナスヘキモノニシテ彼我ノ間偏私ノ處分アルヘカラス依テ其仕拂高ハ各債主ノ要求高ニ應シ相當ノ配分ヲ爲スヲ要ス此点ニ就テハ英國ノ千八百六十二年會社條例ハ故ラニ其第六十四條ニ明文ヲ掲ケテ曰ク本條例ニ基キ設立シタル會社ハ其解散スルニ當テハ權利者ニ對シ均一ノ割合ヲ以テ仕拂ヲナスヲ要ス若シ偏私ノ處分アルニ於テハ之ヲ無効ト

スヘシ而シテ本條ニ於テ會社解散ノ時ト稱スルハ裁判所ノ命令若クハ監督ニヨリ會社ノ解散スル場合ニ於テハ債主ヨリ會社ノ解散ヲ命セラレントテ願出タル時ヲ云ヒ會社ノ任意解散ノ場合ニ於テハ會社ヲ解散スヘシトノ株主總會ノ決議アリタル時ヲ謂フ云々

第二節 會社ニ於テ金錢ヲ借入ルノ事

特發條例ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニハ其條例ヲ以テ明ラカニ金錢ヲ借入ルノ權ヲ會社ニ附與スルヲ得ヘシ又制定條例ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テモ其條例ノ趣旨ニ背反セサル以上ハ其定款等ヲ以テ此權ヲ會社ニ有セシムルヲ得ヘキナリ英國ノ千八百六十二年ノ會社條例ノ如キハ明文ヲ掲ケテ會社ハ

金錢ヲ借入ル、コトヲ得ヘシト規定シタルモノニアラスト雖モ然レモ其第四十三條ニ於テ會社ノ財産ヲ質入スル手續ニ關シ規則ヲ制定シタルヲ見レハ該條例ハ會社ニシテ其財産ヲ質入シ負債ヲ起スコトアルヲ認メタルモノト謂ハサルヘカラス又千八百四十五年ノ編制會社條例モ會社ニ金錢ヲ借入ル、ノ權ヲ與ヘタルモノニアラスト雖モ其條項中左ノ一項ヲ掲ケタリ

抵當又ハ單純ナル證書ニヨリ金錢ヲ借入ル、トテ許サレタル會社ハ各會社ノ條例ヲ以テ規定シタルヨリ以內ノ金額ハ總會ノ可決ニ依リ抵當又ハ單純ナル證書ヲ以テ借入ル、トテ得而シテ其借金辨償ヲ保證スル爲メ會社ノ事業、又ハ其株主ニ對シ要求スヘキ拂込金ヲ抵當トスルコトヲ得ト

右ノ如ク會社カ條例又ハ定款ニ依リ明カニ金錢ヲ借入ル、ノ點ヲ有スル場合ノ外尙ホ其營業ノ性質ヨリ考察シテ暗ニ此權ヲ附與セラレタルモノト看做サ、ルヘカラス場合アリ今其場合ヲ述フルニ先チ茲ニ注意ヲ要スルコトアリ即チ資本金ヲ増加スルノ權ト負債ヲ興スノ權トハ其結果ニ於テ相類似スル所ナキニアラスト雖モ其互ニ異ナル所アルコト是ナリ

會社ノ資本ヲ増減スルハ即チ會社ノ成立チテ多少變更スルモノナルカ故ニ登録資本金額五百萬圓ノ會社ニシテ之ヲ七百萬圓ニ増、額、セ、ン、ト、欲、セ、ハ、特、ニ、株、主、總、會、ノ、決、議、ヲ、經、テ、資、本、金、額、變、更、ハ、登、録、ヲ、其、筋、ヘ、出、願、セ、ザ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、之、ニ、反、シ、會、社、カ、營、業、上、負、債、ヲ、爲、ス、ハ、一、個、人、カ、業、務、ヲ、營、ム、ニ、當、リ、其、取、引、上、他、人、ヘ、仕、拂、義、務、ヲ、負、フ

コトアルト一般ニシテ其業務ニ従事スル以上ハ勢免レサル所ナリ故ニ資本金額ヲ變更スルノ權ヲ有セサル會社ト雖ヒ或ハ金銭ヲ借入ル、ノ權ヲ有スルコトアリ然レモ一ノ會社カ營業上ノ取引ヨリ生シタル仕拂義務ヲ負フノ權ヲ有スレハ迎必ラスシモ金銭ヲ借入レ以テ殊更自カラ進テ負債ヲ起スノ權アルモノニ非ス何トナレハ營業上負擔シタル仕拂義務ハ營業上得タル收入ノ内ヲ以テ支辨スルコソ理ノ當然ナレハナリ故ニ資本金額ヲ増減スルノ權ト負債ヲ起スノ權ト仕拂義務ヲ負フノ權トハ互ニ相異ルモノナリ是レ則チ前節ニ於テ會社カ仕拂義務ヲ負フノ權ヲ論シ本節ニ於テ更ニ其負債ヲ起スノ權ヲ論スル所以ナリ

銀行及其他金銭ノ取扱ヲ以テ營業ト爲ス會社ハ其營業ノ性質上

必ラス金銭ヲ借入ル、ノ權ヲ有スルモノトス又其他普通ノ商業會社ト雖ヒ其性質ノ如何ニ關セス萬已ムテ得サル場合ニ於テハ營業ヲ維持スルニ必要ナル金銭ヲ借入ル、ヲ得ヘキナリ今判決例中ヨリ其一例ヲ舉レハ茲ニ某保險會社アリ其定款ニ曰ク「本會社ノ營業上必要又ハ便利ニシテ且ツ至當ナリト取締役ニ於テ認メタルヲハ取締役之ヲ決行スルヲ得而シテ其取締役ノ實行シタルコトハ總テ社員全体ノ承諾ニ因リ爲シタルコト、同一ノ効力アルヘシ云々」ト

當時該保險會社ニ對シ金圓ノ仕拂ヲ嚴求スルモノアリタルヲ以テ取締役ハ會社カ常ニ金銭ヲ預ケ置ク所ノ銀行ヨリ金員ヲ借入レ以テ其仕拂ヲ爲セリ而シテ該銀行ヨリ負債ヲ起スニ當リ取締

役ハ會社ヨリ株主ニ對シ徵收シタル拂込金ヲ書入レ以テ該負債ノ辨償ヲ保證セリ此場合ニ於テ取締役カ負債ヲ起シタルハ當然其職權内ノ事柄ニ屬スルヲ以テ會社ノ爲メニ保證人トナリ遂ニ會社ノ負債ヲ代償シタル二人ノ取締役ハ會社ヨリ株主へ徵求シタル拂込金ヲ領收スルノ權アル者ナリト判決セラレタリ此訴訟ニ於テ判事マリンス氏曰ク總テ商業ニ従事スル所ノ會社ハ其營業上金錢ヲ借入ルハ必要アル時ハ之ヲ借入ルヲ得ヘシト然レモ此言ハ稍廣漠ニ失スルハ弊アリ何トナレハ其他數多ノ判決例ヲ參觀スルニ會社カ金錢ヲ借入ルニ非レハ到底其會社ノ維持ヲ圖リ難キ場合ニアラサレハ其負債ヲ以テ有効ノ負債ト爲サ、ルコト比々ナリ故ニ會社ハ已ムヲ得サル必要アルニ於テハ

金、錢、ヲ、借、入、ル、ハ、コ、ト、ヲ、得、ヘ、シ、ト、云、フ、ノ、穩、當、ナ、ル、ニ、若、カ、サ、ル、ナ、リ、
又會社ノ創立書類即チ特發條例ニ因リ設立シタル會社ニ在リテハ該條例其他ノ場合ニ於テハ結社約定書及定款ヲ以テ漠然宏大ナル權利ヲ會社ニ附與シタル時ハ會社ハ暗ニ負債ヲ起スノ權アルモノト看做スヘキコトアリ例ヘハ濠洲ヲキシリアリ一氣船會社對マウンセーノ訴訟ニ於テハ原告會社ノ定款ニ「本會社ノ權限内ニ屬スル一切ノ事柄ハ取締役之ヲ爲ストヲ得」トアリシカハ取締役ハ會社ニ代リ其所有船舶ヲ書入質トナシ金錢ヲ借入レタリ茲ニ於テ會社ハ唯船舶ヲ所有スルノ權アルニ止リ之ヲ質入スルノ權アラサルヲ以テ其書入質ハ有効ナル能ハスト主張シタルモノアリタレモ會社ニシテ已ニ船舶ヲ所有スルノ權アル以上ハ之

ヲ質入スルノ權ヲモ亦有スルモノナリト判決セラレタリ
 若シ會社ノ定款ニ於テ若干以内ノ金額ニ限り之ヲ借入ル、
 得ト規定シアルトキハ該會社ハ其借金ノ總額制限額ヲ超越セザ
 ル以上ハ幾回ニテモ負債ヲ起シ得ルモノナリ然レモ其制限額ヲ
 超過シタルキハ其超過額ノ貸借及是ニ附隨スル保證契約等ハ總
 テ無効ニ屬スルモノトス然リ而シテ必要已ムヲ得サルニ因リ其制
 限ヲ超過シテ負債ヲ起シタルキハ該貸借契約及之ニ附從スル保
 証契約ハ只貸借契約トシテ其効ヲ失フニ止リ債主ハ現ニ會社ヘ
 金錢ヲ拂渡シタルコトナレハ仕拂フヘキ理由ナクシテ之ヲ會社
 ヘ拂渡シタルヲ理由トシテ其返還ヲ要求スルコトヲ得ヘシ又會社
 ニシテ金錢ヲ借入ル、ノ權アルモ其所有財産ヲ書入若クハ抵當

トナスノ權ヲ有セサルコトアリ若シ斯ル場合ニ於テ會社カ金錢
 ヲ借入レ其所有財産ヲ書入若クハ抵當トナシタルトキハ該書入
 若クハ抵當ハ無効ニ屬スルモ其本契約タル貸借ノ契約ハ其効ア
 ルモノトス例ヘハスコット對コルボルンノ訴訟ニ於テ某會社ノ
 定款ニ依リ取締役ハ會社ノ名義ヲ以テ爲換手形ヲ振出スノ權ナ
 ク唯書入質ヲ以テ金錢ヲ借入ル、ノ權ヲ有シタリシ者ナルニ取
 締役カ該會社ノ負債ニ對シ保證トシテ爲換手形ヲ振出シ之ト同
 時ニ書入質ヲモ爲シ其爲換手形面ノ金額ヲ會社ヨリ債主ヘ仕拂
 タルトキハ其書入質ヲ直チニ取消スヘシトノ契約ヲ取結ヒタル
 場合ニ於テ裁判所ハ判決ヲ下シテ曰ク右取締役ノ爲シタル書入
 質ハ會社ノ借金ニ對スル保證ニシテ爲換手形ノ仕拂ヲ保證スル